

令和6年度 相模原市立博物館 年報



相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

令和7年4月1日

令和6年度年報発刊に寄せて

日頃より、ご来館ご観覧ありがとうございます。

年報発刊にあたり令和6年度を振り返ると、主な取組や成果を次のとおり四つ挙げることができます。

第一に、開館以来約30年にわたって稼働してきたプラネタリウムのリニューアルに着手しました。リニューアルオープンは令和7年7月を予定しており、10億個の星々を映し出す光学式投影機と8Kのデジタル式投影機によるハイブリッドシステムが導入されるほか、ドームや座席を含めた全面的な改修が行われます。

第二に、令和5年度に引き続き、市民協働や府内外との連携事業に積極的に取り組み、ミニ展示、講座、体験学習など、多岐にわたる活動を博物館内だけでなく、館外でも行いました。特に、民俗企画展「上溝番田の神代神楽」においては、市域を中心に神楽の奉納を担ってきた亀山社中からの寄贈資料について、市民協働による数年にわたる資料整理の成果を公開することができました。

第三に、博物館からの情報発信として、SNSによる事業の紹介だけではなく、博物館の日常的な活動の紹介などにも取り組み、その成果として、フォロワー数が順調に増えており、博物館の存在を広く知っていたことに繋がっていると考えています。今後も急速に発展しているデジタル技術による広報の在り方について研究を進め、効果的な情報発信を行えるよう努めて参りたいと考えています。

第四に、昨年度に引き続き、施設管理の空調設備の根幹的設備である冷温水発生機と館内エレベーターの一部更新を実施しました。今後も施設の長寿命化を図るために、設備の修繕や更新に適切に取り組んで参ります。

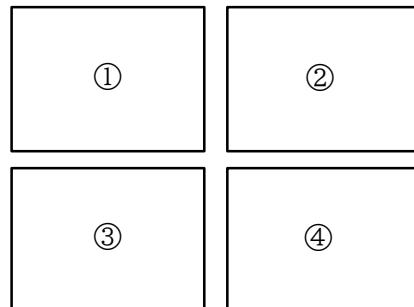
これからご覧いただいく令和6年度の年報では、以上の成果のほか、様々な取組を報告しています。数字だけがすべてではありませんが、多くのみなさまにご来館いただけるようになったこと、博物館職員一同、大変嬉しく思っています。

これからも、「相模原市立博物館の使命」を果たすべく、調査研究・資料収集・各種普及事業などに取り組むとともに、安心・安全・快適な施設運営に努めてまいります。

令和7年度の、そしてこれからの博物館に、どうぞご期待ください。

令和7年4月 相模原市立博物館長

表紙の写真



- ① 「ヘリオス最終投影＆記念撮影会」の様子
- ② 学習資料展関連事業の市民学芸員による食育紙芝居の様子
- ③ 「生きものミニサロン」の様子
- ④ 「学びの収穫祭」口頭発表の様子

令和6年度 相模原市立博物館 年報

目 次

I	相模原市立博物館概要	2
1	設立の経緯	
2	設置目的	
3	令和6年度 博物館重点目標	
4	博物館ネットワークの推進	
5	相模原市立博物館活動評価書（抜粋）	
II	管理運営	6
1	組織と事務分掌	
2	博物館協議会	
3	施設	
4	予算（当初）	
III	教育普及・学習支援	10
1	入館者数	
2	常設展示	
3	展示	
4	講座・講演会等	
5	広報等その他事業	
6	プラネタリウム・全天周映画・ミニプラネタリウム	
7	広報・出版等	
8	博物館学芸員実習	
9	団体利用	
10	博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用	
11	相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し	
12	ネットで楽しむ博物館	
13	博物館職員の講師依頼等	
14	JAXAとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」	
15	市民との協働	
IV	資料管理	38
1	博物館収蔵資料点数	
2	収集・整理	
3	有害生物管理の実施	
4	資料の特別利用	
5	JAXA宇宙科学研究所からの借用物	
V	調査研究	47
VI	市史関連事業	48
1	収集・整理事業	
2	普及事業	
VII	博物館所管施設	49
1	尾崎豊堂記念館（緑区又野）	
2	吉野宿ふじや（緑区吉野）	
3	入館者数一覧	
VIII	企画展（特別展示）、プラネタリウム・全天周映画一覧	52
IX	企画展（特別展示）ポスター一覧	53
X	博物館略年表	54
付録	相模原市立博物館条例 相模原市立尾崎豊堂記念館条例 相模原市吉野宿ふじや管理規程	相模原市立博物館条例施行規則 相模原市立尾崎豊堂記念館条例施行規則

I 相模原市立博物館概要

1 設立の経緯

昭和53年12月、郷土懇話会や文化協会ほか8団体の連名で「博物館設置要望書」が市長に提出された。翌年、文化関係6団体からなる文化財研究協議会が結成され、ここで博物館設立について熱のこもった論議が行われた。設立総会での神崎彰利氏の講演「郷土の文化を守るために=地域博物館の意義と役割」を理論的柱として、建設促進のための活動が展開された。

こうした市民の積極的な行動と同時に、昭和55年、市の「キャンプ淵野辺留保地整備計画」の中に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれ、昭和56年4月に社会教育課に博物館準備係が設置され、博物館設立の第一歩が踏み出された。設立の過程で幾つかの問題があつたが、最大の難問は建設用地で、旧米軍キャンプ淵野辺跡地処分決定に6か年を要したが、博物館をつくる懇話会が提言した“自然環境にめぐまれた”用地が確保された。相模原市の公共施設として、初めてプロポーザル方式で設計者を選定し、平成5年に着工した。

平成7年11月20日（市制記念日）に開館。開館後は1階の常設展示やプラネタリウムを中心に、企画展や講座・教室・観察会など、子どもから年長者までだれもが楽しく学べるよう、さまざまな事業を行っている。

累計入館者数は、平成31年3月に300万人を超え、多くの来館者を迎えてきたが、令和2年から3年にかけての新型コロナウイルス感染症の影響により入館者数は大幅に減少した。

コロナ禍の収束により、令和4年度以降、順調な回復を見せ、令和6年3月には、累計入館者数は350万人を突破した。また、多くの市民の会による活動など、ボランティアによる活動も再び盛んになっている。さらに、学校への出張授業や、市内の小学校が来館して学習するなど、学校への支援・連携も引き続き積極的に取り組んでいる。

2 設置目的

郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館として、相模原市立博物館を相模原市中央区高根3丁目1番15号に設置する。（市立博物館条例第2条）

当館の特徴…自然（動物・植物・地質・天文部門）、人文（考古・歴史・民俗部門）両分野にわたる総合博物館で、プラネタリウムを併設する博物館法に基づく登録博物館（平成7年11月20日神奈川第32号）

3 令和6年度 博物館重点目標

当館は、地域の総合博物館として、「相模原」の自然、文化並びに天文に親しみ、理解を深める場を提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、いきいきとした市民文化の創造に貢献することを目的としています。

そのため、博物館の使命である、郷土の歴史や文化・自然に関する資料の収集・保存に努め、調査・研究をより一層深めるとともに、その活用を図りながら地域文化を継承し発信拠点となるよう取り組みます。また、学校や関係機関等との連携を促進し、主体的に参加する市民を育成し協働を進めながら、市民文化の向上に資する事業の展開、及び「学び」と「活動」の好循環を生み出す取組に努め、更なる相模原の魅力づくりを推進します。

事業の実施に際しては、SDGsの推進、共生社会の実現及びシビックプライドの醸成を常に念頭に置きながら、『第二次相模原市教育振興計画』の基本方針に則り、具体的な取組を進めます。

また、令和7年度のリニューアルに向け、プラネタリウム改修についての事務を進めるほか、市建築物の長寿命化計画に基づく当館の改修事業について着実に執行します。

■ 重点目標 ■

- ・郷土への理解を深めるため、収蔵資料の更なる活用を通じ、魅力ある展示に努めます。
- ・日ごろの調査研究の成果を生かし、かつ、関係機関や団体、学校等と連携した事業の実施に取り組み、来館者や閲覧者の増加を図るとともに学びの場の提供に努めます。
- ・JAXA等との連携を強化し、プラネタリウム等の特色を生かした宇宙教育普及事業の充実に取り組みます。
- ・市民ボランティア等の育成・充実に取り組み、博物館活動への市民の参画を促進するとともに、協働による事業展開を進めます。
- ・博物館への興味・関心を高めるとともに来館のきっかけとなるよう、多様なメディアを活用し、効果的、魅力的な情報発信に努めます。
- ・人（来館者・従事者）にもモノ（収蔵品）にも安全で快適な環境維持のため、計画的で適切な施設の管理に努めます。

■ 重点施策（取り組むべき事業） ■

1 展示・教育普及事業の推進

- (1) 考古・歴史・民俗・生物・天文・地質等に関する企画展示、講演会等の実施
- (2) 市民ボランティアとの協働による展示の工夫及び事業の実施
- (3) JAXA等との連携を重視した宇宙教育普及事業の実施
- (4) 尾崎豈堂記念館、吉野宿ふじや情報発信事業の実施
- (5) 市民ボランティアの育成、充実と主体的な活動の促進

2 積極的な情報発信事業の推進

- (1) 広報さがみはら、ホームページに加え、ブログ・X（ツイッター）・YouTube、インスタグラム等インターネットを活用した効果的な情報発信の実施
- (2) 機会を捉えた積極的な情報提供の実施

3 施設及び関連施設の維持管理

- (1) 計画的な施設維持管理の実施
- (2) 来館者の安全・安心を最優先した管理運営の実施

4 市史関連事業の推進

- (1) 市史編さん関連資料類の整理・保存及び普及活動の実施

5 博物館評価の実施

- (1) 自己評価・利用者意見・博物館協議会委員意見による博物館評価の実施

4 博物館ネットワークの推進

博物館所管施設の尾崎豈堂記念館、吉野宿ふじやにおける地元団体への委託事業のほか、社会教育施設等における出張展示や普及・活用事業への学芸員の派遣など連携・協力・助言を行った。その結果、博物館をコア施設と捉え、社会教育施設全体をネットワークと考える多くの場所での学習機会の提供に寄与することができた。

ア 尾崎豈堂記念館展示・普及事業

- …「尾崎行雄を全国に発信する会」へ委託し、次の事業を開催した。
 - ・ミニ企画展「第二次憲政擁護運動と尾崎行雄」
 - ・近・現代史講演会「バイオテクノロジーの父 高峰譲吉 その多様な人間像」

イ 吉野宿ふじや展示・普及事業

- …「NPO法人ふじの里山くらぶ」へ委託し、次の事業を開催した。
 - ・「甲州道中（相模湖・藤野・上野原）のおひな様」展
 - また、ふじの里山くらぶ主催で「加藤清明水彩画」展を開催した。

ウ 生涯学習部内の連携

- …市内の生涯学習施設として相互PRを行うため、総合学習センターで出張ミニ展示を開催したほか、図書館、中央区役所とSNSの相互フォローをするなど連携を図った。
 - …「古民家でおひな様 春のおでかけスタンプラリー2025」として、文化財保護課、田名財産管理委員会、久保田酒造株式会社及び博物館で連携し、相模原市古民家園、小原宿本陣、旧石器ハテナ館、小原の郷、相模田名民家資料館、久保田酒造及び吉野宿ふじやにおいて、同時期にひな人形を展示し、各施設をめぐるスタンプラリーを実施した。
- エ JAXA相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟出張展示（詳細は36頁Ⅲ14参照）
- …博物館とJAXAの連携のひとつとして、JAXA相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟の博物館紹介コーナーに出張展示を行った。

5 相模原市立博物館活動評価書（抜粋）

I 相模原市立博物館活動評価の総括

（評価期間：令和5年度）

- 平成20年6月に「博物館法」が改正され、博物館の運営状況の評価やその情報の提供等を行うこととされた。このため当館では、当館の使命等に基づき、定量評価及び定性評価の手法で、博物館協議会による有識者評価を経て、平成23年度から令和元年度までは3年ごと、令和2・3年度は2年間の、令和4年からは単年度で評価を行っている。令和4年度に引き続き、第6回目となる令和5年度の活動について評価を行った。

【当館の使命】

- 地域の歴史や文化・自然に関する資料を調査研究し、また、収集した資料を適切に保存し蓄積するとともに、その活用を図りながら地域文化を継承・発信する拠点となること。
- 主体的に参加した市民と協働し、あるいは地域の諸機関と広く連携していく体制を整え、市民文化の向上に資する活動を積極的に展開すること。

【評価項目】

- 1 博物館の基礎的な機能を果たすための必要な活動
- 2 展示教育普及事業の推進
- 3 市民との協働による博物館活動の展開
- 4 市閑連施設・機関との連携

令和5年度における活動評価全体総括

- 市民との共同調査や関連機関との連携研究など、分野を超えた共同研究、及び、資料の収集・保存という博物館の役割を果たし、それらの成果を展示教育普及事業に活用していることが評価された。
具体的には、新収蔵資料や時事的なテーマを扱った企画展・ミニ展示の開催や講演会・体験学習・観察会など、幅広い層を対象にした教育普及事業が評価された。今後、収蔵スペースの確保や常設展示の全面リニューアルに取り組んでほしいとの要望があった。
- 多くの市民団体や関連施設及び他機関と協力して博物館活動を展開していることが評価された。
具体的には、市民団体との協働により調査研究及び展示教育普及事業をはじめ、市閑連施設や他機関との連携事業などが評価された。さらには、プラネタリウムを活用した多彩

な宇宙教育普及事業の実施を推進してきた点も評価された。

博物館の使命を果たすべく、今後とも市民協働による調査研究・資料収集・教育普及事業を推進するとともに、関連する諸機関と更なる連携に努めていく。地域博物館として種々の課題を克服しながら安心・安全・快適な施設運営に努めていく。

【定量評価】

- 入館者数・プラネタリウム観覧者数・企画展観覧者数などはエレベーター工事に伴う3か月間の休館期間の影響で令和4年度に比べると減少している。講座参加者・講演回数はコロナ禍前と同程度の回数となっている。学芸員の講師派遣回数は過去5年間で最高の回数となった。市民の会の延べ参加者数は活動を終了した会もあるため、総数は減少しているが、参加率は同水準であり、市民の学習機会の場を維持し、生涯学習機関としての博物館として役割を果たすことができた。

【定性評価】

- 1 博物館の基礎的な機能を果たすための必要な活動では、「資料収集及び調査研究とその成果の公表」「施設・環境の維持管理」について評価を行った。

有識者からは、学芸員の基本活動である調査研究及び資料収集が十分に行われており、関係機関との連携により新たな資料が収蔵されたことについて評価された。また、収蔵施設の維持管理のための設備の更新・改修・修繕の継続を求められた。

課題としては、資料の計画的な収集や収蔵庫の増設・拡張が挙げられた。

- 2 展示教育普及事業の推進では、「企画展示・教育普及事業の実施」「宇宙教育普及事業」「様々なメディアを用いた情報発信の取組」について評価を行った。

有識者からは、収蔵資料を活用した企画展やミニ展、講演会・体験学習・観察会など、市民へ幅広く学習機会を提供したことや、プラネタリウムを活用したコンサートや講演会などが評価された。また、他機関との連携事業の取組の継続も期待されている。

課題としては、常設展示の全面リニューアルや紙媒体とソーシャルメディアの併用による費用対効果を考えた情報発信が挙げられた。

- 3 市民との協働による博物館活動の展開では、「市民協働による調査研究・資料収集活動」「市民協働による展示教育普及事業」について評価を行った。

有識者からは、市民協働による調査研究や収集資料及び市民活動の発表の場を設けたことが評価された。市民協働は博物館活動の根幹をなすものであり、今後も継続することが求められた。

- 4 市関連施設・機関との連携では、「関連機関との連携」「学校等への学習支援」について評価を行った。

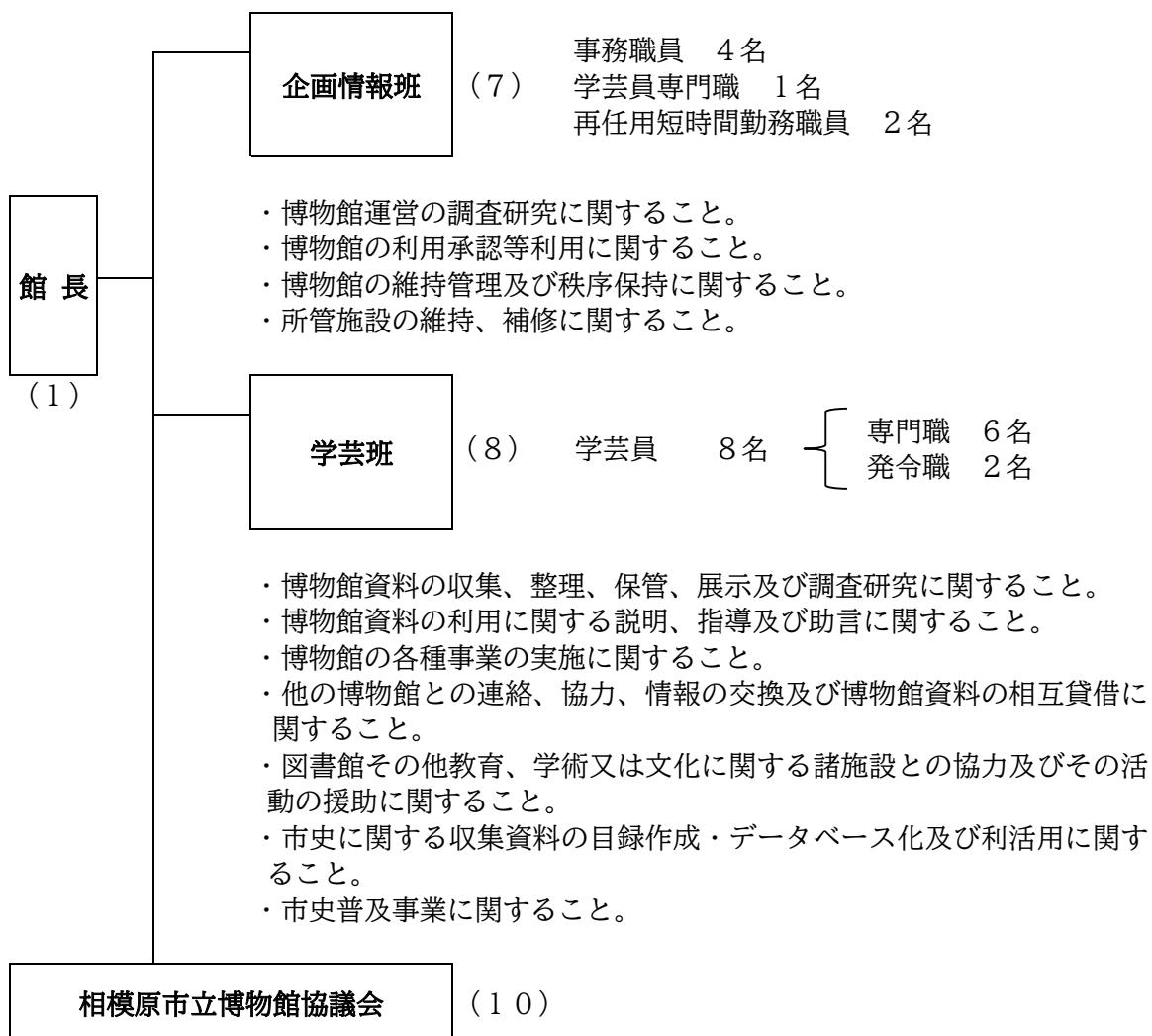
有識者からは、地域の関係機関への学芸員の講師派遣やミニ展示の出張巡回展示が評価された。また、多様な世代・機関からの見学・研修を受け入れたことも評価された。他機関との連携が更に推進されることが期待されている。

課題として、出前授業や貸出しキットの周知方法、他機関との連携を更に推進するための学芸員の増員が挙げられた。

II 管理運営

1 組織と事務分掌

令和7年3月31日現在



2 博物館協議会

(1) 趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

(2) 委員構成 任期2年

第15期 令和5年11月20日～令和7年11月19日 ◎会長 ○副会長

氏名	備考	選出区分
大貫 努	小学校校長	学校教育
五十里 雅子（～R6.3.31） 佐藤 和彦（R6.4.1～）	高等学校校長	
大貫 英明	市文化財研究協議会会長	社会教育
大谷 春枝	市P T A連絡協議会書記	
○ 吉川 恵美	市女性学習グループ連絡協議会代表	家庭教育
◎ 岩野 秀俊	元日本大学生物資源科学部教授	学識経験者
浜田 弘明	桜美林大学教授	
藤本 正樹	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授	
関 明	市民公募	市の住民
根岸 恵		

(3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
第15期 2	令和6年7月11日(木)	・相模原市立博物館活動評価書について ・令和5年度博物館事業報告について ・令和6年度教育普及事業計画について
第15期 3	令和6年10月18日(金)	・相模原市立博物館活動評価書について
第15期 4	令和7年3月7日(金)	・相模原市立博物館活動評価（案）について ・令和7年度事業計画について ・プラネタリウム管理運営計画について

3 施設

(1) 施設概要

ア 敷地面積	9, 999. 48 m ²
イ 構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨 鉄筋コンクリート造・鉄骨造
ウ 規 模	地下1階・地上3階建て
エ 建築面積	5, 081. 03 m ²
オ 延床面積	9, 510. 24 m ²
カ 休 館 日	月曜日（休日に当たる日を除く） 休日の翌日（休日・日曜・土曜に当たる日を除く）
キ 開館時間	午前9時30分～午後5時

	用 途・面 積	主 な 室	内 容
展示・教育	展示スペース (1, 907 m ²)	自然・歴史展示室 (1, 170 m ²)	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分りやすい展示がされている。
		天文展示室 (127 m ²)	「宇宙とつながる」をテーマに、JAXAから借用した実物資料や、隕石、太陽望遠鏡のライブ映像など、身近な資料を用いて、宇宙についての分かりやすい展示がされている。
		特別展示室 (487 m ²)	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	学習スペース (453 m ²)	実習実験室 (90 m ²)	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席
		情報サービスセンター (127 m ²)	郷土の自然や歴史に関する参考図書等を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
	大会議室 (237 m ²)		各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容
保管・研究	研究スペース (1, 038 m ²)	プラネタリウム (648 m ²)	室内に210席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径23mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。
		市民研究室 (294 m ²)	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
		天体観測室 (74 m ²)	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
	整理作業室ほか		博物館資料の整理や調査研究を行うための諸室が設置されている。
管理・共用	収蔵スペース (1, 570 m ²)	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を良好な状態で安全に保存するため、温湿度管理及び警備を行っている。
	管理・共用 ス ペース (3, 894 m ²)	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	1階休憩コーナーや軽食のとれる2階喫茶コーナー、市史や図録の他博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。

(2) 設備改修工事 (1, 000万円以上)

- ・エレベーター1号機更新工事（令和6年度分）

工 期 令和6年6月14日～令和7年3月31日

- ・冷温水発生機等更新工事（その2）

工 期 令和6年6月21日～令和7年2月7日

- ・プラネタリウム更新業務委託（令和6年度分）

工 期 令和6年4月1日～令和7年3月31日

(3) 施設管理業務委託（委託料年間1, 000万円以上）

令和6年度 相模原市立博物館 年報

・総合管理業務委託	(株)オーチュード	相模原支店
	委託期間	令和6年6月1日～令和9年5月31日
・受付業務委託	(株)ギオン	
	委託期間	令和5年6月1日～令和8年5月31日
・プラネタリウム操作等業務委託	(株)東急コミュニケーションズ	
	委託期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

(4) 消防訓練

第1回 令和6年9月27日(金)／第2回 令和7年3月27日(木)

4 予 算(当初)

(単位:千円)

款	項	目	科目名	6年度予算額	7年度予算額	財源内訳	6年度
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	100	100	一般財源 特定財源	100 0
50	20	45	博物館費	634,324	636,736	一般財源 特定財源	296,848 337,476
			計	634,424	636,836		634,424

博物館費

節		説明		
区分		金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費	
0 1 報酬		265	経費内訳	6年度
0 7 報償費		1,796	1 博物館協議会経費	270 290
0 8 旅費		193	2 施設運営費	248,399 348,425
1 0 需用費		91,690	(1) 資料収集保存経費	3,198 3,405
1 1 役務費		834	(2) 資料調査研究経費	924 924
1 2 委託料		387,260	(3) 展示・教育普及事業経費	3,931 10,209
1 3 使用料及び賃借料		9,725	(4) プラネタリウム事業経費	36,484 19,578
1 4 工事請負費		142,311	(5) プラネタリウム事業経費 (債務負担行為)	203,500 296,500
1 7 備品購入費		150	(6) プラネタリウム操作等委託 (債務負担行為)	— 17,447
1 8 負担金、補助及び交付金		100	(7) その他運営費	362 362
		合計 634,324	3 施設維持管理費	243,219 225,040
			4 博物館施設整備事業費	106,816 10,416
			5 博物館施設整備事業費(継続費)	33,946 50,919
			6 市史関連事業	23 13
			7 一般事務費	1,651 1,633
			合計	634,324 636,736

III 教育普及・学習支援

1 入館者数

(1) 令和6年度計 124,238人

(2) 総 計 3,627,663人

(3) 詳 細

月	入館者数	プラネタリウム総数	プラネタリウム内訳			特別展	星空観望会	講演会講座等	企画展関連事業	おためしタイム	観覧料	開館日数	1日平均
			一般投影	全天周映画	貸切投影								
4月	7,517	2,963	1,254	1,535	174	4,591	165	112	18	168	¥727,190	25	301
5月	9,239	3,692	1,404	1,664	624	2,027	116	1,204	0	283	¥874,450	27	342
6月	10,921	4,229	1,794	1,584	851	4,798	142	389	0	230	¥992,690	24	455
7月	12,936	6,323	2,737	3,058	528	5,045	195	410	349	310	¥1,428,940	28	462
8月	17,595	9,770	3,468	6,047	255	8,514	140	1,784	121	256	¥2,200,790	30	587
9月	11,581	5,336	1,962	2,298	1,076	4,204	148	370	354	388	¥1,218,150	25	463
10月	11,775	5,130	1,290	1,203	2,637	7,334	0	141	322	174	¥706,220	27	436
11月	16,026	6,356	1,727	1,264	3,365	3,098	0	1,805	327	175	¥849,180	26	616
12月	5,138	495	366	129	0	2,988	0	304	0	28	¥146,800	23	223
1月	6,074	0	0	0	0	4,315	0	188	0	0	¥0	22	276
2月	7,224	0	0	0	0	5,130	0	612	0	0	¥0	23	314
3月	8,212	0	0	0	0	5,830	0	825	0	0	¥0	25	328
6年度計	124,238	44,294	16,002	18,782	9,510	57,874	906	8,144	1,491	2,012	¥9,144,410	305	407

※令和6年12月3日(火)～令和7年3月30日(日)までプラネタリウムは改修のため休止

(参考) 開館からの総計

月	入館者数	プラネタリウム総数	プラネタリウム内訳			特別展	星空観望会	講演会講座等	企画展関連事業	おためしタイム	観覧料	開館日数	1日平均
			一般投影	全天周映画	貸切投影								
平成7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836			¥11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186			¥18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167			¥12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696			¥12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255			¥15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258			¥11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574			¥14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277			¥12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873			¥13,904,050	302	418
16年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148			¥11,562,090	300	372
17年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725			¥12,776,280	301	387
18年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896			¥14,321,720	303	375
19年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245			¥13,369,000	304	403
20年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517			¥13,831,800	303	423
21年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681			¥13,679,160	303	449
22年度	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466	103,988	1,861	6,249			¥25,095,880	301	608
23年度	137,608	61,648	24,887	24,099	12,662	70,716	1,283	9,438			¥17,780,860	306	450
24年度	138,619	55,377	30,731	12,011	12,635	68,305	2,228	9,100			¥15,274,420	307	452
25年度	138,660	55,905	26,798	16,260	12,847	76,722	2,369	10,114			¥15,334,880	306	453
26年度	126,631	51,816	21,996	18,588	11,232	66,370	1,998	11,344			¥13,971,950	303	418
27年度	132,201	53,432	23,030	19,518	10,884	71,865	1,685	10,114			¥14,303,490	304	435
28年度	125,194	54,814	26,506	17,075	11,233	68,283	1,615	12,167			¥14,568,880	303	413
29年度	137,996	59,245	24,038	23,530	11,677	72,876	1,588	16,941			¥15,673,280	304	454
30年度	136,450	56,530	27,025	18,639	10,866	73,069	1,681	11,841			¥14,551,270	304	449
令和元年度(※1)	138,573	55,195	22,585	21,901	10,709	78,289	1,343	8,962	2,594	3,342	¥13,999,290	278	498
2年度(※2)	49,770	14,323	6,816	5,942	1,565	15,275	0	1,542	0	18	¥4,433,660	195	255
3年度(※3)	83,550	25,700	12,295	8,383	5,022	47,727	15	5,667	3,045	1,969	¥7,478,550	256	326
4年度	123,193	48,147	22,154	14,738	11,255	63,194	461	3,685	1,285	2,664	¥12,839,320	304	405
5年度(※4)	102,585	42,313	21,286	13,057	7,970	47,606	1,013	5,462	1,171	2,020	¥10,774,760	237	433
6年度	124,238	44,294	16,002	18,782	9,510	57,874	906	8,144	1,491	2,012	¥9,144,410	305	407
総計	3,627,663	1,508,328	612,854	589,688	305,786	1,645,317	34,628	217,104	9,586	12,025	¥406,808,680	8,640	420

※1 令和元年東日本台風のため、令和元年10月12日(土)～13日(日)午後1時及び新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日(月)～31日(火)休館

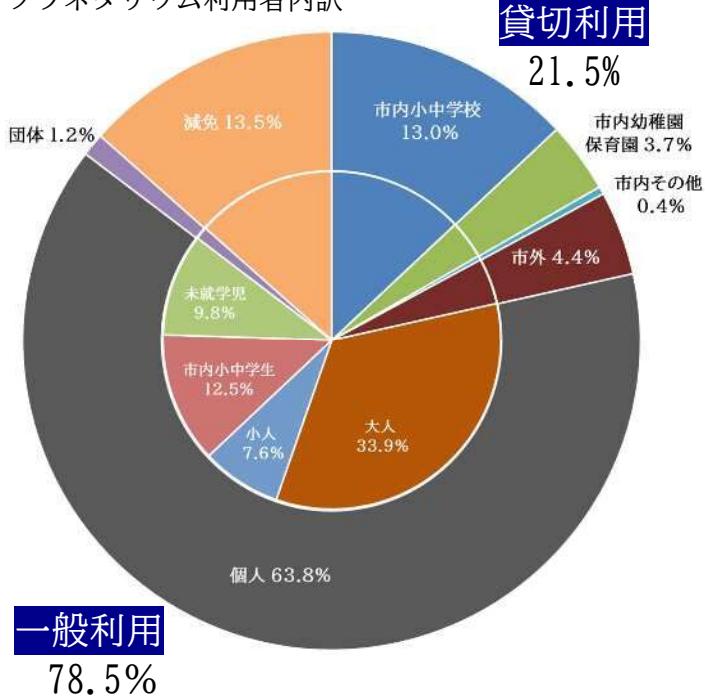
※2 新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日(水)～6月8日(月)及び令和3年1月13日(水)～3月21日(日)休館(「はやぶさ2」帰還カプセル世界初公開展示期間(3月12日(金)～3月16日(火))は往復はがきでの抽選による当選者

にのみ公開) 及び令和2年4月1日(水)～6月18日(木) プラネタリウム休止

※3 緊急事態宣言の発令に伴い、令和3年8月6日(金)～9月30日(木) 休館

※4 設備改修工事のため、令和5年12月1日(金)～令和6年2月29日(木) 休館

プラネタリウム利用者内訳



	市内 小中学校	大人	402	9,510	
		小人	5,375		
市内幼稚園 保育園	大人	193	1,429		
	未就学児	1,429			
市内その他	大人	4	169		
	小人	2			
市外	減免(高齢・障害・介護)	169	295		
	大人	169			
	小人	916			
	未就学児	556			
一般利用	減免(高齢・障害・介護)	295	34,784		
	大人	14,996			
	小人	3,387			
	市内小中学生	5,541			
	未就学児	4,359			
団体	大人	168	375		
	小人	375			
減免	高齢・障害・介護・ひとり親	5,958			

2 常設展示

常設展示は、「自然・歴史展示室」と「天文展示室」の2分野からなる。

「自然・歴史展示室」は、「川と台地と人々のくらし」を全体テーマとし、「台地の生い立ち」、「郷土の歴史」(令和5年3月に郷土の偉人 尾崎行雄(豊堂)に関するミニコーナーを設置)、「くらしの姿」、「人と自然のかかわり」、「地域の変貌」の5つのテーマに分けられている。相模原の自然・歴史について実物資料、レプリカ、映像、解説パネルなどにより学ぶことができる。

「天文展示室」は、「宇宙とつながる」をテーマに、宇宙の映像や隕石資料、太陽のライブ映像、JAXAとの連携展示などを通して、宇宙と自分をつなげて考える場を提供している。

3 展示

(1) 企画展(特別展示)(全5件)

事業名		会期・実施日	来場者	内容・備考
1	「STOP!クリハラリス～特定外来生物の分布拡大を止めるために～」	4/1(火)～5/6(月)	6, 568人	クリハラリスの県内分布拡大を懸念する行政や大学、博物館が協働で行う対策や調査研究の様子を紹介。
	(1) 展示解説	4/27(土)	18人	講師当館学芸員(生物)
2	第9回「わお!な生きものフォトコンテスト写真展」	4/1(火)～5/6(月)	6, 568人	「わお!」と思わず声が出てしまうような、生きものとの偶然の出会いをとらえた写真コンテストの作品展。
3	「相模原に生まれた偉人尾崎行雄(鷗堂)新規収蔵資料展」	6/1(土)～6/30(日)	4, 798人	令和5年度に受け入れた郷土の偉人・尾崎行雄ゆかりの新規収蔵資料を紹介。
4	民俗企画展「上溝番田の神代神楽」	7/13(土)～9/8(日)	15, 098人	博物館に寄贈された上溝番田に伝わる神代神楽の資料を紹介したもの。
(1)	プラネタリウムで神楽「神話から見る神々の世界」	7/13(土)	290人	講師相模里神楽垣澤社中
	民俗学講演会「日本の神楽と神代神楽」	7/28(日)	59人	講師小川直之さん(國學院大學名誉教授)
	民俗企画展「上溝番田の神代神楽」ギャラリートーク	8/12(月) 8/13(火)	32人 17人	講師当館学芸員・相模里神楽垣澤社中
	民俗企画展「上溝番田の神代神楽」着付け体験ワークショップ	8/13(火) 8/20(火)	39人 33人	講師相模里神楽垣澤社中
5	学習資料展「相模原70年と学校給食のあゆみ」	9/22(日)～11/10(日)	13, 097人	市制施行70周年を記念し、相模原市の70年間のあゆみと学校給食に関する企画展を開催。 協働市民学芸員
	(1) 紙芝居クラブによる食育紙芝居	9/22(日) 10/13(日) 11/3(日)	79人 76人 111人	上演市民学芸員(紙芝居クラブ)
	(2) ぶんぶんゴマで遊ぼう	9/22(日) 10/13(日) 11/3(日)	130人 96人 125人	講師市民学芸員
	(3) 相模原市食育推進マスコットキャラクター「サガピー」のフォトスポット	9/22(日) 10/13(日) 11/3(日)	145人 150人 91人	協働市民学芸員

(2) ミニ展示(全19件)

	事業名	会期・実施日	期間中の入館者数	内容・備考
1	令和5年『宇宙の日』記念行事 全国小・中学生作文絵画コンテスト館内受賞作品展	3/1(金)～ 4/7(日)	2,310人 (4/1～4/7)	全国小・中学生作文絵画コンテストにおいて、当館に応募のあった作品の館内受賞作品について展示。
2	創立125周年記念展示「相模女子大学の歴史」	3/1(金)～ 4/7(日)	2,310人 (4/1～4/7)	相模女子大学(南区)が令和7年に創立125周年を迎えるのを記念し、その歩みを写真で紹介。
3	「牧野富太郎博士の植物標本」	3/1(金) ～5/6(月)	10,631人 (4/1～5/6)	令和5年11月に東京都立大学牧野標本館との標本交換によって当館資料となつた「牧野標本」のお披露目展示。
4	「出張！麻布大学いのちの博物館」	3/1(火)～ R7/3/31(日)	124,238人 (4/1～R7/3/31)	令和5年に連携協定を結んだ麻布大学いのちの博物館について紹介する展示。
5	新規収蔵資料お披露目展示「ツキノワグマ」	3/1(火)～ R7/3/31(日)	124,238人 (4/1～R7/3/31)	令和5年11月に緑区千木良で錯誤捕獲されたツキノワグマを標本化したため、お披露目した。
6	「津久井城跡市民協働調査の調査成果展示」	3/22(金)～ 6/30(日)	27,677人 (4/1～6/30)	令和5年11月に発掘調査をした城坂曲輪群7号曲輪の成果や出土品を展示。
7	「五月人形展示」	5/1(水)～ 5/6(月)	3,114人	博物館ボランティア「市民学芸員」による五月人形の展示。 協働 市民学芸員
(1)	独楽プレゼント	5/5(日) 5/6(月)	34人 27人	市民学芸員が手作りした独楽をプレゼントした。
(2)	折り紙教室	5/5(日) 5/6(月)	66人 61人	端午の節句に関連した折り紙を折る。
(3)	兜写真撮影	5/5(日) 5/6(月)	102人 32人	五月人形の前で、市民学芸員制作の兜をかぶって記念写真を行った。
8	勝坂遺跡史跡指定50周年ミニ展示「縄文中期の大遺跡 勝坂遺跡」	7/6(土)～ 9/1(日)	30,299人	勝坂遺跡の史跡指定50周年を記念し、同遺跡の出土品や過去の調査成果を展示。
(1)	展示解説	7/20(土) 8/17(土) 8/31(土)	8人 10人 5人	講師 当館学芸員(考古)
(2)	記念講演会「50年前の勝坂遺跡～史跡指定までの道のり～」	8/3(土)	71人	講師 大貫 英明さん(相模原市文化財研究協議会会長)
9	相模原市×日野市 甲州道中本陣連携事業 ミニ展示「甲州道中と明治天皇巡幸」	8/31(土)～ 11/10(日)	30,880人	甲州道中をテーマにした令和6年度歴史分野博物館実習生によるミニ展示。 連携協力 市文化財保護課、日野市ふるさと文化財課

令和6年度 相模原市立博物館 年報

10	市史ミニ展示「相模原市の市制施行までの歩み」	10/5(土)～R6/11/30(土)	26, 792人	市制施行当時の昭和29年後の写真などを展示。
11	「第2次憲政擁護運動と尾崎行雄」	10/19(土)～12/27(金)	25, 846人	尾崎行雄の主な活動のひとつである「憲政擁護運動」をテーマとし、尾崎の選挙への考え方や思いを展示。
12	「日本初！小型月着陸実証機SLIMの月面直陸成功」	12/3(火)～R7/3/30(日)	18, 263人	JAXAが令和6年1月にピンポイントで月面着陸を成功させた小型月着陸実証機SLIMを取り上げ、ミッションの成果や探査技術、月探査で得られたデータ等について展示。
13	市史ミニ展示「相模原市の誕生から70年、あの頃の風景と世相」	12/14(土)～R7/2/1(土)	8, 943人	昭和16～29年ごろの風景(橋本駅前ほか)を写真から展示。
14	令和6年度 宇宙の日記念 全国小・中学生作文絵画コンテスト館内受賞作品展	12/21(土)～R7/3/30(日)	16, 206人	全国小・中学生作文絵画コンテストにおいて、当館に応募のあった作品の館内受賞作品について展示。
15	文化財ユニークベニュー作品展	R7/1/4(土)～R7/1/31(金)	6, 074人	文化財保護課と共に、市内の建造物での行った市民参加の写真イベントで撮影した写真を展示。
16	田名向原遺跡史跡指定25周年記念ミニ展示「旧石器時代のハンターと黒曜石」	R7/2/1(土)～R7/3/15(土)	10, 837人	田名向原遺跡の史跡指定25周年を記念し、同遺跡の特徴や、出土した黒曜石の特徴などを展示。
(1)	石器製作実演	R7/2/11(火)～R7/3/1(土)	155人 134人	講師 当館学芸員(考古)
17	市史ミニ展示「70年前の暮らしと人々～『相模原市市勢要覧』から」	R7/2/15(土)～R7/3/30(日)	12, 147人	相模原市市勢要覧をテーマに、生活の様子などを展示。
18	「博物館でおひな様」	R7/2/11(火)～R7/3/9(日)	7, 316人	博物館ボランティア「市民学芸員」によるひな人形の展示。 協働 市民学芸員
(1)	ぶんぶんゴマで遊ぼう	R7/3/1(土)～R7/3/2(日)	55人 56人	講師 市民学芸員
(2)	おひな様と一緒に写真を撮ろう	R7/3/1(土)～R7/3/2(日)	53人 80人	おひな様の段飾りの前で写真撮影を行った。 協働 市民学芸員
19	「津久井城跡市民協働調査の調査成果展示」	R7/3/20(木)～R7/6/1(日)	3, 628人 (3/20～3/31)	令和6年11月に発掘調査をした城坂曲輪群7号曲輪の成果や出土品を展示。

(3) 巡回・出張展示 (全10件)

	事業名	会期	期間中の入館者数	内容・備考
1	「市民学芸員かわら版」 会場：麻布大学いのちの博物館	2/1(火)～ 4/26(金)	647人 (4/1～4/26)	市民学芸員が作成した『市民学芸員かわら版』のバックナンバーを展示。 協働 市民学芸員
2	「コクゾウムシが教えてくれた！」 会場：総合学習センター	2/16(金)～ 4/17(水)	3,311人 (4/1～4/17)	市内で貯蔵植物の存在を示唆するコクゾウムシの昆虫圧痕土器が見つかったことから、その最新研究成果と研究方法を紹介。
3	「富士のある地球」 会場：総合学習センター	4/19(金)～ 6/17(月)	8,713人	ダイヤモンド富士やパール富士、星空と富士山の共演を写真や映像で紹介。
4	「コクゾウムシが教えてくれた！」 会場：図書館	5/14(火)～ 5/31(金)	20,137人	市内で貯蔵植物の存在を示唆するコクゾウムシの昆虫圧痕土器が見つかったことから、その最新研究成果と研究方法を紹介。
5	「相模原ふるさといろはかるた」 会場：れんげの里あらいそ	4/11(木)～ 5/14(火)	521人	博物館ボランティアの「市民学芸員」が作成した「いろはかるた」を展示紹介したもの。 協働 市民学芸員
6	神奈川再発見！フェア「相模原ふるさといろはかるた」 会場：イオン相模原店	5/25(土)～ 6/2(日)	(カウント無し)	博物館ボランティアの「市民学芸員」が作成した「いろはかるた」を展示紹介したもの。 協働 市民学芸員
7	「石のステンドグラスミニ～岩石の顕微鏡写真～」 会場：麻布大学いのちの博物館	6/8(土)～ 9/3(火)	3,188人	模様や色の美しい岩石や鉱物の偏光顕微鏡写真を展示。
8	「憲政擁護運動と尾崎行雄(豊堂)」 会場：麻布大学いのちの博物館	11/9(土)～ R7/1/31(金)	709人	尾崎による「桂内閣弾劾演説」から110年の節目にちなみ、令和5年に開催したミニ企画展を出張展示した。
9	「相模原ふるさといろはかるた」 会場：麻布大学いのちの博物館	R7/3/21(金) ～6/11(水)	621人 (3/21～3/31)	博物館ボランティアの「市民学芸員」が作成した「いろはかるた」を展示紹介したもの。 協働 市民学芸員
10	相模原市×日野市 甲州道中本陣連携事業 ミニ展示「甲州道中と明治天皇巡幸」 会場：吉野宿ふじや	R7/3/20 (木・祝)～7/27(日)	37人 (3/20～3/31)	甲州道中をテーマにした令和6年度歴史分野博物館実習生によるミニ展示を吉野宿ふじやで出張展示了。

4 講座・講演会等

(1) 講演会 (全8件)

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	令和6年度相模原市文化財研究協議会公開講演会「近世絵図で読み解く相模原の歴史」・特別公開	5/26(日)	50人	相模原が描かれた近世絵図を題材に、絵図が描かれた背景や絵図から語られる地域の歴史を読み解く。また、当館所蔵の絵図資料を特別公開した。 主催 相模原市文化財研究協議会 共催 相模原市教育委員会（当館、市文化財保護課） 講師 市公文書館職員

令和6年度 相模原市立博物館 年報

2	はやぶさW E K関連事業 J A X A研究者による特別講演会	6/9(日)	108人	太陽系と宇宙の物質進化過程の研究者が、サンプルリターンミッションにより得られた小惑星サンプルについて講演。 講師白井 寛裕さん(JAXA宇宙科学研究所地球外物質研究グループ長)
3	アステロイドデースペシャルトーク2024	6/30(日)	61人 (オンライン82人)	天体の地球衝突問題に対応するプラネタリーディフェンスについての最新情報をJAXAプラネタリーディフェンスチームより講演。 講師吉川 真(JAXA宇宙科学研究所准教授)ほか
4	プラネタリウム特別番組 「惑わないので星」×水星磁気圏探査機「みお」スペシャルトーク	9/8(日)	150人	人気漫画『惑わないので星』の作者石川雅之さんと、JAXAの水星磁気圏探査機「みお」のプロジェクトサイエンティスト、村上豪博士によるスペシャルトークをプラネタリウムで開催。
5	第6回 宇宙フェスタさがみはら 講演会「新しいプラネタリウムへの期待－天体観測からプラネタリーディフェンスまで－」	12/1(日)	103人	「宇宙を身近に感じられるまちさがみはら」をテーマに、JAXA職員と天文家の講演会を実施。 講師吉川 真さん(JAXA宇宙科学研究所准教授)、大川 拓也さん(天文家)
6	令和6年度相模原自然環境観察員 第5回環境学習セミナー	12/15(日)	76人	自然環境観察員制度の登録者及び一般向けに、相模原市の地形・地質と生物の概要をそれぞれ学芸員が解説。 講師当館学芸員(地質・生物)
7	近現代史講演会「バイオテクノロジーの父 高峰譲吉 その多様な人間像」	R7/2/9(日)	30人	尾崎行雄の桜寄贈に協力した高峰譲吉博士をテーマに講演したもの。 講師清水 昌さん(高峰譲吉博士研究会理事)
8	麻布大学いのちの博物館×相模原市立博物館連携記念講演会Vo1.2「ヒトとイヌの絆 最新研究が示す、特別な関係の現在、過去、未来」	R7/3/20(木)	144人	ヒトとイヌの絆を科学的に証明した研究で世界から注目を集めると講師が、その概要と今後の応用の展望などを紹介。 講師菊水 健史さん(麻布大学教授)

(2) 講座 (全8件)

事業名		実施日	参加者	内容・備考
1	地質学講座	5/12(日) 5/26(日) 6/9(日) 6/23(日)	21人 19人 20人 21人	神奈川県最古の地層である小仏層群と相模湖層群について、講義と野外観察を行った。 講師当館学芸員(地質)

令和6年度 相模原市立博物館 年報

2	中央地区「大人と子ども共に学ぶ宇宙教室」公開講座	7/27(土)	125人	小型月着陸実証機SLIMの成果を中心に日本の月面探査についての最新情報を講演。よさこい踊り隊「虹組」による宇宙をテーマにしたよさこい踊りの披露 講師坂井真一郎(SLIMプロジェクトマネージャ)
3	考古学講座「相原遺跡群を探る」	10/12(土) 10/20(日)	7人 7人	縄文相原を中心とした縄文時代遺跡対象に、座学および現地探訪を実施した。 講師当館学芸員(考古)
4	相模原市×日野市 甲州道中本陣連携事業 甲州道中歴史講座	10/20(日)～R7/1/19(日)	208人	甲州道中及び本陣に関して、各宿場の歴史や本陣建物の建築史上的特徴などの各論と、幕府による五街道－甲州道中の整備による総論を、講演会形式の連続講座として開催。 共催市教育委員会(市文化財保護課、当館)、日野市ふるさと文化財課
(1)	第1回「相模国甲州道中と小原宿本陣」	10/20(日)	34人	講師当館市史資料調査員
(2)	第2回「武藏国甲州道中と日野宿本陣」	11/17(日)	34人	講師金野 啓史さん(日野市ふるさと文化財課課長(学芸員))
(3)	第3回「建築史からみた本陣建物」	12/22(日)	56人	講師海老澤 模奈人さん(東京工芸大学教授／市文化財保護審議委員)
(4)	第4回「江戸幕府の五街道政策と甲州道中」	R7/1/19(日)	84人	講師菅原 一さん(国文学研究資料館プロジェクト研究員)
5	JAXA特別公開	11/2(土)	287人	主催JAXA宇宙科学研究所 共催相模原市／相模原市教育委員会(当館)
(1)	進路で人生どうなるの？私の進路と今の研究	11/2(土)	33人	JAXA相模原キャンパス在学・在勤の学生・研究者(女性)による自分が歩んだ進路と現在の研究に関するトークイベントを実施。 講師JAXA職員
(2)	國中所長 特別講演「日本の宇宙研究について」	11/2(土)	122人	JAXA宇宙科学研究所 所長による講演会を実施。 講師國中 均さん (JAXA宇宙科学研究所所長)
(3)	小型月着陸実証機SLIMスペシャルトークショー	11/2(土)	132人	JAXA SLIMプロジェクトメンバーによる講演会を実施。 講師SLIMプロジェクトメンバー

令和6年度 相模原市立博物館 年報

6	令和6年度研究機関等公開講座 JAXAコース「世界初の火星圏からのサンプルリターンミッション～MMX計画～に迫る～」	R 7/2/15 (土)	81人	生涯学習センターが開催する研究機関等公開講座 JAXAコースにおいて、JAXA研究者による講演を実施。 講師 峰松 拓毅さん (JAXA主任研究開発員) 連携 生涯学習センター・博物館
7	まちの歴史さがしてみました～まちさが考古学講座	R 7/3/9 (日)	150人	町田市との連携事業で、境川流域を対象に、旧石器～平安時代までの主要遺跡を解説した。 共催 町田市生涯学習総務課・市文化財保護課・当館
8	中央区こどもカレッジ	R 7/3/1 (土) R 7/3/15 (土)	85人 81人	バルーンロケットやプログラミング関連イベント、講演会など宇宙に関連する様々なイベントを実施。 講師 山口 弘悦さん(JAXA宇宙科学研究所 准教授) (株)e-Craft NPO法人 KU-MA 当館学芸員(天文) 主催 相模原市中央区役所 共催 当館 協力 JAXA宇宙科学研究所

(3) 体験学習(全11件)

事業名	実施日	参加者	内容・備考
1 土器×2タッチ	4/21(日)～ R 7/3/23(日) (全18回)	2,318人	市内の出土品を元に、実際に土器・石器にふれてもらう体験型の事業を実施。 講師 当館学芸員(考古) ※5/19(日)は「国際博物館の日」関連事業として実施 ※6/2(日)はイオン相模原店を会場に実施
2 国際博物館の日 2024 バックヤードツアー	5/18(土)	63人	博物館の裏側を見学するバックヤードツアーを実施 講師 当館学芸員
3 はやぶさWEEK関連事業 キッズワークショップ 星砂で星座絵を作ろう♪	6/9(日)	38人	種子島の海岸の砂から星砂を探し、探した星砂で星座絵を作った。 講師 当館学習指導員
4 タンポポプロジェクト 花粉分析	7/27(土) 8/4(日) 8/10(土) 9/1(日)	各10人	在来タンポポの分布状況を調べる研究プロジェクトの一環として、花粉による識別のワークショップを実施。 講師 倉田 薫子さん(横浜国立大学教授)・当館学芸員 協働 アースウォッチジャパン
5 火山灰を顕微鏡で見てみよう	8/9(金)	97人	日本各地の火山灰に含まれる鉱物を顕微鏡で観察。 講師 当館学芸員(地質)

令和6年度 相模原市立博物館 年報

6	夏休み親子天文教室～手作り望遠鏡で月を見よう！～	8/10(土)	41人	天体望遠鏡の作成キットを用いて、保護者と子どもで手作り望遠鏡を作成し、実際に観察を行うイベントを実施。 講師当館学芸員 当館天文クラブ会員
7	シカ・イノシシの革キー ホルダー作り	8/22(木)	131人	野生生物との共存について考えるきっかけとして、市内で捕獲したシカの皮を使ったキー ホルダーを作るワーク ショップ。 講師竹内 陶子さん
8	JAXA特別公開	11/2(土)	1,124人	主催JAXA宇宙科学研究所 共催相模原市／相模原市教育委員会(当館)
(1)	SORA-Q体験会	11/2(土)	277人	S L I Mに搭載された月面ロボット「SORA-Q」のフラッグシップモデルを操作する体験会を実施。 講師当館学芸員(天文)
(2)	かさ袋口ケットを作って飛ばそう	11/2(土)	332人	工夫してよく飛ぶかさ袋口ケットを作る工作会を開催。 講師JAXA職員
(3)	小型月着陸実証機S L I M VR体験	11/2(土)	350人	S L I Mの観測結果を用いたVR体験会を実施。 講師JAXA職員
(4)	こてつくんボードゲーム体験会	11/2(土)	165人	ごろく形式で月面探査を行うボードゲーム体験会を実施。 講師タカラトミーから派遣
9	博物館×若あゆ 天体観測イベント～昼と夜、2つの天文台を巡ろう～	11/16(土)	36人	市内在住の小中学生と保護者を対象に、博物館でプラネタリウム鑑賞と天文台見学（昼間の星の観望）を行った後、若あゆでキャンプファイヤーと夜の天体観望を開催。 連携当館・相模川自然の村体験教室
10	繭うさぎ作り	R7/2/1(土)	180人	博物館で育てた繭をつかってうさぎを作る 協働市民学芸員
11	博物館でFeeel度walk	R7/2/11(火) 3/25(火)	18人 9人	カメラを片手に博物館の常設展示室を撮影しながら探検した。 講師伊藤恵子さん

(4) 観察・探訪会（全1件）

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	生きものミニサロン	4/6(土)～ 3/15(土) (全13回)	212人	身近な生きものの不思議や観察の楽しさを紹介するミニ観察会やレクチャー。申し込み不要で各回12時～12時30分に実施。8月のみ、博物館実習生が企画、運営し、2回実施。5月は国際博物館の日関連イベントとして実施。 講師当館学芸員(植物・動物)・NACS-J自然観察指導員・当館実習生

(5) 観望会（全2件）

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	星空観望会	4/13(土)～ 9/29(日) (前13回)	906人	プラネタリウムにて、観望予定天体の説明を受けた後、天体観測室にある口径40cmの大型望遠鏡や観測テラスに設置した大型双眼鏡や望遠鏡を使い、天体を観望。※曇天・雨天の場合はプラネタリウム観覧 講師当館学芸員 プラネタリウム解説員 当館天文クラブ会員
2	国際博物館の日 2024昼間の星の観望会	5/11(土)	35人	天体観測室にある口径40cmの大型望遠鏡で明るい天体を導入し、青空の元で天体を観望。 講師当館学芸員

(6) クイズラリー（全2件）

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	国際博物館の日2024クイズラリー	5/11(土)～ 19(日)	459人	展示室内の隠れたキーワードを記入いただいた方に、参加賞として、当館25周年記念絵葉書をプレゼント
2	探検！発見！クイズラリー 2024	8/23(金)～ 25(日)	804人	展示資料にまつわるクイズラリーを実施 協働市民学芸員
(1)	岩石かあさんのパフォーマンス「火山から生まれた石」	8/23(金) 8/24(土) 8/25(日)	55人 64人 96人	「探検・発見クイズラリー2024」の一環で開催したパフォーマンス 上演市民学芸員

(7) 成果発表会（全1件）

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	学びの収穫祭	11/23(土) 11/24(日)		博物館のボランティアグループ及び関連の団体、個人等が日頃の研究成果や活動状況を発表。
(1)	口頭発表	11/23(土)	103人	博物館のボランティアグループ及び関連の団体、個人等が日頃の研究成果や活動状況の口頭発表。

令和6年度 相模原市立博物館 年報

(2)	展示	11/23 (土)～R7/ 1/31(金)	15, 487人 (期間中入館者数)	博物館のボランティアグループ及び関連の団体、個人等が日頃の研究成果や活動状況をポスター形式で発表。
(3)	学芸員講演会	11/24(日)	29人	南区磯部にある勝坂遺跡は縄文時代中期のムラ跡である。市内の縄文時代を概観し、勝坂遺跡の特徴を解説。
(4)	ワークショップ「縄文土器の模様を写しあげよう！」	11/24(日)	54人	相模原縄文研究会による縄文土器の拓本体験。
(5)	ワークショップ「かるた遊びで、君もはやぶさ2博士に！」	11/24(日)	45人	東京科学大学附属科学技術高等学校科学部による、はやぶさ2のミッションを学ぶかるた遊びを実施。

5 広報等その他事業（全9件）

	事業名	実施日	参加者	内容・備考
1	はやぶさWEEK関連事業			連携シティプロモーション戦略課
	(1) サガミリオン＆さがみんと記念写真を撮ろう	6/9(日)	60人	銀河連邦ヒーローサガミリオンと相模原市マスコットキャラクターのさがみんと一緒に記念撮影。
	(2) 陣馬山の星空を眺めよう（VR体験）	6/9(日)	215人	陣馬山の頂上から見える美しい景色と満点の星を収録した360度の映像を、VRゴーグルを装着して体感。
2	七夕でワッショイ！博物館de星まつり			
	(1) チェキ撮影会	7/6(土)	60人	七夕らしい記念撮影コーナーでチェキ撮影会を実施
	(2) 星座絵しおり作り	7/7(日)	64人	自分だけの星座絵しおりができるワークショップ
3	プラネタリウムdeベビーヨガ	7/19(金) 10/11(金) 11/22(金)	40人 28人 39人	プラネタリウムでヨガと星空のコラボレーション。満天の星の下、乳幼児と保護者でヨガを楽しんだ。
	4 「にやんたい観測」×相模原市 市立博物館コラボ	8/3(土)～ 9/29(日)	28, 277人	宇宙がテーマのキャラクタープロジェクト「にやんたい観測」とコラボし、館内の周遊ラリーや学習パネルの展示を行った。 連携シティプロモーション戦略課
	5 朗読プラネタリウム「星空のジェイクとちいさなジーコ」	11/30(土)	285人	プラネタリウムの多目的利用として星空解説と朗読のコラボレーションイベントを開催。
6	第6回 宇宙フェスタさがみはら			連携シティプロモーション戦略課
	(1) 星のストラップ作り	12/1(日)	196人	自分だけの星のストラップを作るワークショップを実施。
	(2) 宇宙紙芝居	12/1(日)	111人	市民学芸員による「宇宙紙芝居」 上演市民学芸員（紙芝居クラブ）

令和6年度 相模原市立博物館 年報

	(3)	星のレジンチャーム作り	12/1(日)	19人	自分だけの月のレジンチャームを作るワークショップを実施。
	(4)	宇宙飛行士訓練服記念撮影	12/1(日)	145人	宇宙飛行士訓練服のレプリカを着て記念撮影。
	(5)	宇宙VR体験	12/1(日)	132人	リュウグウタッチダウン、はやぶさ2フライトバイのVR体験
7		誰でも星空ヨガ	R7/1/28(火) R7/2/28(金) R7/3/14(金)	17人 17人 17人	家庭用プラネタリウムを活用して、満天の星の下、ヨガを楽しんだ。
8		ミニプラネタリウムで椅子ヨガ	R7/2/4(火) R7/3/4(火)	19人 18人	ミニプラネタリウムで投影された満天の星の下、ヨガを楽しんだ
9		古民家でおひな様 春のおでかけスタンプラリー2025	R7/2/11(火) ～3/4(火)	222人 (景品配布者数)	博物館、吉野宿ふじや、古民家園、小原宿本陣、小原の郷、旧石器ハテナ館、久保田酒造、相模田名民家資料館の8施設でのスタンプラリー 連携市文化財保護課、田名財産管理委員会、久保田酒造株式会社

6 プラネタリウム・全天周映画・ミニプラネタリウム

※令和6年12月3日（火）～令和7年7月15日（火）はプラネタリウム改修工事のため、投影休映。令和6年12月3日（火）～令和7年6月29日（日）は、特別展示室に設置した9mエアドームによるミニプラネタリウムを無料で投影。

(1) 投影等開始時間

プラネタリウム

平日（火～金（特別上映期間を除く））

午後2時30分・午後4時

土・日・祝日及び特別上映期間

午前10時30分・午後1時・午後2時30分・午後4時

ミニプラネタリウム

平日（火～金（特別上映期間を除く））

午後2時30分・午後3時30分

土・日・祝日及び特別上映期間

午前10時30分・午前11時30分・午後1時30分・午後2時30分・午後3時30分

(2) 一般投影

星空さんぽ

内 容 解説員による季節の星空解説と各月入替えのミニテーマで構成（所要約40分）

春

4月「りゅう座」

5月「南天の星」

夏

6月「小惑星探査機『はやぶさ』と火星衛星探査計画『MMX』」

7月「七夕」

8月「流星群」

秋

9月「お月見」

10月「彗星」

令和6年度 相模原市立博物館 年報

11月「さよならヘリオス」（12月1日まで）

こどもプラネタリウム

- ア 内 容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成（所要約40分）
イ 番 組 ①プラネタリウムで宇宙たんけん！（春）～ナゾの宇宙人からのメッセージ～
3月2日（土）～5月26日（日）
②プラネタリウムで宇宙たんけん！（夏）～ナゾの宇宙人からのメッセージ～
6月1日（土）～8月31日（土）
③プラネタリウムで宇宙たんけん！（秋）～ナゾの宇宙人からのメッセージ～
9月1日（日）～12月1日（日）

全天周映画

- ア 内 容 大型映像の全天周映画作品を上映
イ 番 組 ①名探偵コナン 灼熱の銀河鉄道
(同時上映「まくまくんの星空大冒険」)
4月2日（火）～5月26日（日）
②タッチ・ザ・スター
4月2日（火）～7月19日（金）
③名探偵コナン 灼熱の銀河鉄道
(同時上映「ニヤンちゅう！プラネタリウムチュー！-夏の星座-」)
6月1日（土）～8月31日（土）
④プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型
(同時上映「ニヤンちゅう！プラネタリウムチュー！-夏の星座-」)
7月20日（土）～8月31日（土）
⑤プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型
(同時上映「まくまくんの星空大冒険」)
9月1日（日）～12月1日（日）
⑥名探偵コナン 灼熱の銀河鉄道
(同時上映「まくまくんの星空大冒険」)
9月1日（土）～11月29日（金）

ミニプラネタリウム

- ア 内 容 解説員による今夜の星空解説、全天周映画作品を無料上映（所要約20～30分）
イ 番 組 ①今夜の星空解説
12月3日（火）～令和7年3月30日（日）
②名探偵コナン 灼熱の銀河鉄道
12月3日（火）～令和7年3月30日（日）
③プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型
12月7日（土）～令和7年3月30日（日）

（3）プラネタリウム特別上映

- ア 内 容 学校の春・夏の時期は、特別上映期間として毎日4回投影・上映した。また、「はやぶさWEEK」期間やJAXA相模原キャンパス特別公開では、小惑星探査機「はやぶさ」の全天周映画を期間限定で上映した。
① 春休み特別上映期間
4月2日（火）～4月7日（日）
② 夏休み特別上映期間
7月20日（土）～8月25日（日）
③はやぶさWEEK
HAYABUSA BACK TO THE EARTH～帰還バージョンDC版
6月9日（日）～6月16日（日）

令和6年度 相模原市立博物館 年報

④JAXA 相模原キャンパス特別公開
HAYABUSA BACK TO THE EARTH～帰還バージョンDC版
11月2日（土）

（4）おためしタイム（無料）

- ア 内 容 日曜日・祝日の正午から「おためしタイム」として無料で約10分間の番組を投影
※委託業者による提案事業
イ 実施日 日曜日・祝日
ウ 参加者 延べ 2,012人（計46回投影）

（5）学習・幼児向け投影

- ア 内 容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組
イ 番 組 小中学校向け 小学校第3学年「太陽とかけ・観察道具の使い方」
小学校第4学年「空を見上げると（夏・冬）」
小学校第6学年「月の形と太陽の素顔（夏・冬）」
中学校第3学年「宇宙への旅」
幼児向け 「リーベルタース天文台だより」（春・夏・秋・冬）
「ピーターパンのぼうけん」
「ピーターパンとほしのくにへいこう！」
「ワクワクさがぽん！惑星めぐり」
「おしえて！さがぽん お月さまってなあに？」
「プラネタリウムで宇宙たんけん！」（春・夏・秋・冬）
ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、平日の午前1回、午後1回投影

（6）広報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・チラシを作成し館内に掲示した。また、淵野辺駅に掲示する他、博物館ホームページや広報さがみはらに番組内容を掲載した。

7 広報・出版等

(1) 印刷物・刊行物

ア 企画展（特別展示）のポスター・パンフレット等
※ポスター一覧は53頁参照

- イ 相模原市立博物館イベントニュース
(4~3月号)
- ウ プラネタリウム・全天周映画のポスター・チラシ等
- エ 相模原市立博物館研究報告 第33集

(2) 有償刊行物一覧（令和7年3月31日現在）

博物館と市役所行政資料コーナーで販売 売上総計 411,500 円

①博物館 図録・報告書等売上

合計 227冊 72,580 円

ア 特別展・企画展図録等

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	H 7.11	完売
江南の至宝	¥1,300	H 8.2	完売
相模原の昆虫－身近にいる小さな仲間たち－	¥350	H 8.4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	H 8.11	完売
絵図から地形図へ－近代地形図の誕生と発展－	¥2,550	H 9.7	完売
太陽系－母なる太陽とその家族を巡る－	¥700	H 9.11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	H 10.9	完売
水生昆虫の世界－水の中の小さな虫たち－	¥1,200	H 11.7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	H 11.10	完売
花を描き、花を知る－植物画の魅力－	¥1,200	H 12.7	完売
幕末・維新の相模原－村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち－	¥1,500	H 12.10	完売
星の測量－角度をはかり、位置をもとめる－	¥700	H 13.7	16
“道”再発見－道の役割とその移りかわり－	¥1,500	H 13.10	完売
昆虫のふしぎ	¥500	H 14.7	9
水晶ってすばらしい！－その美と実用の魅力－	¥1,000	H 15.7	完売
晃嶺の百花譜	¥1,500	H 16.7	3
相模原－その開発と変貌－	¥800	H 16.10	17
地球46億年	¥900	H 17.7	8
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	H 18.10	完売
合計	¥41,000		53

※「晃嶺の百花譜」及び「相模原－その開発と変貌－」の売上冊数のうち、各1冊は市役所行政資料コーナーで売り上げたもの。

イ 報告書等

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
研究報告第7集 1999	¥850	H 10.3	完売
研究報告第8集 2000	¥850	H 11.3	完売
研究報告第9集 2001	¥900	H 12.3	完売
研究報告第10集 2002	¥900	H 13.3	完売
研究報告第11集 2002	¥850	H 14.3	完売
研究報告第12集 2003	¥900	H 15.3	0
研究報告第13集 2004	¥900	H 16.3	0
研究報告第14集 2005	¥900	H 17.3	0

令和6年度 相模原市立博物館 年報

研究報告第15集 2006	¥1,050	H 18.3	0
研究報告第16集 2007	¥1,150	H 19.3	0
研究報告第17集 2008	¥1,150	H 20.3	0
研究報告第18集 2009	¥700	H 21.3	0
研究報告第19集 2010	配布のみ	H 22.3	-
研究報告第20集 2012	配布のみ	H 24.3	-
研究報告第21集 2013	配布のみ	H 25.3	-
研究報告第22集 2014	配布のみ	H 26.3	-
研究報告第23集 2015	配布のみ	H 27.3	-
研究報告第24集 2016	配布のみ	H 28.3	-
研究報告第25集 2017	配布のみ	H 29.3	-
研究報告第26集 2018	配布のみ	H 30.3	-
相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化	¥900	H 10.3	完売
地図資料目録II 一般図・主大図・地形図	¥1,200	H 12.3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	H 13.3	完売
相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区的民俗	¥600	H 14.3	8
資料目録4 テフラ標本目録	¥850	H 15.3	0
資料目録5 相模原植物誌 I	¥600	H 15.3	2
古淵B遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	H 17.3	0
博物館所蔵古文書目録	¥900	H 17.3	0
境川流域民俗調査報告書	¥500	H 17.3	完売
博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	H 20.3	2
さがみはら自然ガイド カエル見つけた!!	¥180	H 21.5	18
大日野原遺跡資料調査報告書	¥720	H 31.3	4
津久井城跡資料調査報告書	¥1,820	R 2.3	2
合 計		¥19,160	36

※「相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区的民俗」の売上冊数のうち1冊、「津久井城跡資料調査報告書」の売上冊数のうち2冊は市役所行政資料コーナーで売り上げたもの。

ウ 展示解説書

書 名	販売価格	発行年月	売上冊数
常設展示解説書	¥1,000	H 8.11	完売

エ 相模原市立博物館開館25周年記念ポストカード

絵葉書名	販売価格	発行年月	売上数量
ポストカード（相模原市立博物館）	¥30	R 2.11	29
ポストカード（相模原市緑区青野原上空からみた道志川）	¥30	R 2.11	11
ポストカード（相模津久井城図 但古城）	¥30	R 2.11	2
ポストカード（毛羽取機）	¥30	R 2.11	2
ポストカード（エナガの巣立ちビナ）	¥30	R 2.11	14
ポストカード（勝坂式土器）	¥30	R 2.11	13
ポストカード（相模原市立博物館プラネタリウム）	¥30	R 2.11	21
ポストカード（7枚セット）	¥210	R 2.11	46
合 計		¥12,420	138

合 計	¥72,580	227
-----	---------	-----

②市史・町史

博物館と市役所行政資料コーナー及び市書店協同組合加盟店で委託販売

市史・町史合計 129冊 338,920 円

ア 相模原市史

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模原市史 第1巻 (中世以前通史)	¥2,300	S 39.11	3
相模原市史 第2巻 (近世通史)	¥3,400	S 42.3	1
相模原市史 第3巻 (近代通史)	¥2,800	S 44.2	2
相模原市史 第4巻 (現代通史)	¥3,200	S 46.3	2
相模原市史 第5巻 (中世・近世資料集)	¥4,500	S 40.11	2
相模原市史 第6巻 (近代資料集)	¥3,200	S 43.2	2
相模原市史 第7巻 (別編)	¥1,900	S 47.3	1
相模原市史 現代図録編	¥1,500	H 16.11	8
相模原市史 現代資料編	¥3,700	H 20.3	1
相模原市史 自然編	¥3,400	H 21.5	13
相模原市史 民俗編	¥2,550	H 22.3	4
相模原市史 民俗編DVD版	¥1,550	H 22.3	1
相模原市史 現代通史編	¥2,100	H 23.3	3
相模原市史 考古編	¥2,650	H 24.3	6
相模原市史 現代テーマ編	¥2,310	H 26.3	5
相模原市史 文化遺産編	¥3,060	H 27.3	4
相模原市史 近代資料編	¥3,240	H 29.5	4
相模原市史 別編	¥1,690	H 30.2	2
相模原市史 別編CD版	¥920	H 30.2	4
相模原市史ノート創刊号	¥350	H 16.3	0
相模原市史ノート第2号	¥700	H 17.3	0
相模原市史ノート第3号	¥600	H 18.3	0
相模原市史ノート第4号	¥600	H 19.3	0
相模原市史ノート第5号	¥600	H 20.3	0
相模原市史ノート第6号	¥700	H 21.3	0
相模原市史ノート第7号	¥700	H 22.3	0
相模原市史ノート第8号	¥650	H 23.3	0
相模原市史ノート第9号	¥700	H 24.3	0
相模原市史ノート第10号	¥700	H 25.3	1
相模原市史ノート第11号	¥700	H 26.3	1
相模原市史ノート第12号	¥700	H 27.3	0
相模原市史ノート第13号	¥700	H 28.3	0
相模原市史ノート第14号	¥720	H 29.3	0
相模原市史ノート第15号	¥760	H 30.3	1
相模原市史調査報告書1 旧石器時代遺跡資料調査報告書	¥1,400	H 19.3	2
相模原市史調査報告書2 動植物調査目録	¥2,400	H 21.3	0
相模原市史調査報告書3 相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体からみた過去8万年間の気候植生変化史	¥1,500	H 21.3	1
相模原市史調査報告書4 相模原市地域の第4紀地史研究のための指標テフラ（火山灰）	¥2,300	H 21.3	1
相模原市史調査報告書5 繩文時代遺跡資料調査報告書	¥1,000	H 21.3	1
相模原市史調査報告書6 勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書	¥1,350	H 22.3	2
相模原市史調査報告書7 当麻山無量光寺歴代上人墓所石造塔婆群調査報告書	¥1,200	H 23.3	1
合計		¥190,920	79

イ 城山町史

書名		販売価格	発行年月	売上冊数
城山町史 1	資料編 考古・古代・中世	¥7,000	H 4・3	1
城山町史 2	資料編 近世	¥6,000	H 2・3	1
城山町史 3	資料編 近現代	¥7,000	H 5・3	1
城山町史 4	資料編 民俗	¥5,150	S 63・3	1
城山町史 5	通史編 原始・古代・中世	¥3,500	H 7・3	1
城山町史 6	通史編 近世	¥3,500	H 9・3	1
城山町史 7	通史編 近現代	¥3,500	H 9・3	1
城山風土記 1	近現代編	¥600	H 3・3	1
城山風土記 2	近世文書を読むために	¥700	H 6・3	2
城山風土記 3	九十歳の雑記帳	¥600	H 7・3	1
城山風土記 4	歴史・民俗編	¥600	H 8・8	1
城山風土記 5	町の歩みをふりかえる	¥600	H 9・3	1
城山町史資料所在目録	近世文書	¥3,600	S 60・3	0
城山町史資料所在目録	近現代文書・近世文書補遺	¥2,900	S 61・12	0
城山町史新聞記事目録		¥1,200	S 62・3	0
町史の窓（復刻版）		¥1,100	H 18・3	1
合計		¥40,550		14

ウ 津久井町史

書名		販売価格	発行年月	売上冊数
津久井町史 資料編 近世 1		¥2,000	H 16・3	2
津久井町史 資料編 考古・古代・中世		¥2,900	H 19・3	3
津久井町史 資料編 近代・現代		¥3,150	H 21・2	1
津久井町史 資料編 近世 2		¥3,550	H 23・3	2
津久井町史 自然編		¥3,690	H 25・3	1
津久井町史 通史編 近世・近代・現代		¥2,720	H 26・3	2
津久井町史 通史編 原始・古代・中世		¥2,620	H 28・3	3
津久井町史 文化遺産編		¥4,060	H 30・3	2
ふるさと津久井 第1号		¥1,000	H 12・3	完売
ふるさと津久井 第2号 特集 山に生きる		¥1,000	H 13・3	完売
ふるさと津久井 第3号 (特別号) 津久井の古地図		¥1,000	H 14・3	完売
ふるさと津久井 第4号 特集 養蚕と織物(1)		¥1,000	H 15・9	完売
ふるさと津久井 第5号 特集 養蚕と織物(2)		¥750	H 24・3	4
ふるさと津久井 第6号		¥820	H 26・3	3
ふるさと津久井 第7号		¥790	H 29・3	2
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅰ」		¥1,700	H 16・3	0
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅱ」		¥1,500	H 20・3	0
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」		配布のみ	H 24・3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」 CD版		配布のみ	H 24・3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」		配布のみ	H 24・3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の植物」 CD版		配布のみ	H 24・3	-
津久井町史調査報告書「津久井町の動物」		¥720	H 25・2	0
津久井町史調査報告書「津久井町の気象」		¥1,840	H 25・2	0
津久井町史資料目録 公文書 1		¥2,300	H 22・3	0
津久井町史資料目録 公文書 2		¥1,700	H 24・3	0
津久井町史資料叢書 事務報告 1		¥1,850	H 22・3	0
津久井町史資料叢書 事務報告 2		¥1,850	H 22・3	0
合計		¥55,100		25

令和6年度 相模原市立博物館 年報

エ 相模湖町史

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
相模湖町史 歴史編	¥14,000	H 13・3	1
相模湖町史 民俗編	¥5,600	H 19・2	1
相模湖町史 自然編	¥11,550	H 20・2	1
合計		¥31,150	3

オ 藤野町史

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
藤野町史 資料編上	¥3,000	H 6・3	2
藤野町史 資料編下	¥3,000	H 6・3	2
藤野町史 通史編	¥4,000	H 7・3	2
ふじの町史 研究誌（第1号）	¥600	H 2・3	完売
ふじの町史 研究誌（第2号）		H 4・2	完売
ふじの町史 研究誌（第3号）	¥600	H 5・3	1
ふじの町史 研究誌（第4号）		H 6・2	完売
ふじの町史 研究誌（第5号）	¥600	H 8・3	1
合計		¥21,200	8

(3) 広報活動

ア ポスター・チラシ掲示

前述の各ポスター・チラシを市各機関・近隣博物館・相模大野パブリックインフォメーション所管課等へ送付し、掲示・配架を依頼するとともに、淵野辺駅等に掲示した。

イ 記事提供

広報さがみはらや相模原記者クラブなどの新聞・雑誌・タウン紙等のメディアへイベント情報を提供した。また、タウン紙「タウンニュース」の「巳年相模原 蛇 こぼれ話」で学芸員が資料紹介等の寄稿を行った。

ウ 放送番組

NHK、テレビ朝日、TBS、J:COM、FM HOT 839など、博物館の事業や動植物を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。

エ 博物館資料の博物館外での常設展示

考古資料を史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館、史跡勝坂遺跡公園管理棟、国立歴史民俗博物館、津久井湖城山公園に年間を通じて貸出して展示に協力した。民俗資料を国立民族学博物館に年間を通じて貸出して展示に協力した。

オ 博物館ホームページ、職員ブログ、ツイッターなどによる発信

各種事業のPRや周知を博物館ホームページ、職員ブログ、X（ツイッター）などにより広く発信した。

8 博物館学芸員実習

学芸員資格取得のために実習として、8月6日（火）～9月21日（土）の内、実質9日間に15大学から延べ19人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

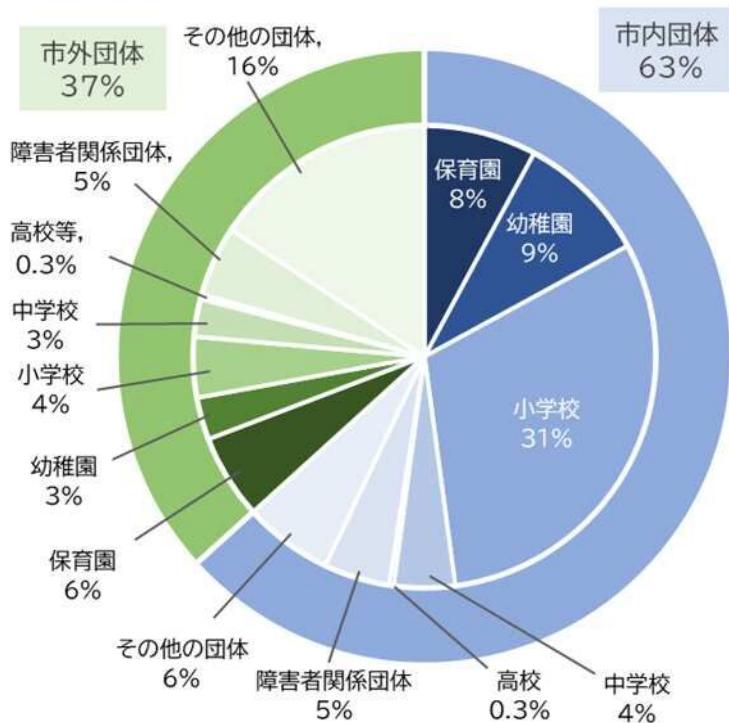
分野	大学	人 数	分野	大学	人 数
考古	青山学院大学	1	生物	東京都立大学	1
	東京造形大学	1		帝京科学大学	1
歴史	桜美林大学	1	地質	神奈川大学	1
	法政大学	1		東京海洋大学	1
	専修大学	1		東京都市大学	1
民俗	帝京大学	1	天文	信州大学	1
	多摩美術大学	1		東京都市大学	1
	日本大学	1		桜美林大学	1
生物	東京海洋大学	1		東京造形大学	1
	東京農業大学	1			

9 団体利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム貸切投影、展示学習）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人數	月	件数	人數	月	件数	人數
4月	3	188	8月	25	835	12月	8	332
5月	26	1122	9月	24	1347	1月	12	654
6月	33	1881	10月	50	3104	2月	19	745
7月	34	989	11月	61	4093	3月	10	403
						年計	305	15,693

団体利用内訳



利用団体	市内団体	市外団体
保育園	24	18
幼稚園	28	9
小学校	94	13
中学校	13	8
高校等	1	1
大学等	0	0
障害者関係団体	14	15
高齢者関係団体	0	0
その他の団体	19	48
合計	193	112

10 博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用

市内小中学校からの依頼により、学校教材用に博物館資料の貸出しを行った。

(主な貸出しキット)

- | | |
|----------|-----------------|
| ・糸車 | ・昭和ってすごい時代体感キット |
| ・火のし | ・和傘 |
| ・下駄 | ・箱膳セット |
| ・縄文体験キット | ・太陽系モデル |

学年	件数
小学校1年	1
小学校2年	0
小学校3年	5
小学校4年	0
小学校5年	0
小学校6年	1
中学校1年	0
中学校2年	0
中学校3年	1
合計	8

11 相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し

博物館ボランティアの「市民学芸員」が7年かけて企画・検討を重ね、手作りで平成29年度に完成した「いろはかるた」。市内緑区から南区まで47ヶ所の名所・旧跡などを紹介したもので、絵札、読み札の他、解説文（日本語、英語）、紹介地マップもついている。

令和6年度に、内容が現状に合わなくなつた一部の札を新たに制作し、旧札と差し替えた。

また、貸出し分（40組、期間は原則1ヶ月以内）を博物館内の掲示やホームページ、職員ブログでPRを行ったほか、博物館の学習資料展で紹介した。

(1) 制作

相模原市立博物館ボランティア「市民学芸員」

(2) 貸出し件数

学校、公民館など12件54組

12 ネットで楽しむ博物館

動画配信サイトY o u T u b eの「相模原市立博物館公式チャンネル」を用いて、博物館ホームページの「ネットで楽しむ博物館」で動画配信を行った。

	タイトル	視聴回数 ^{※1}
1	相模原市立博物館プラネタリウム紹介動画2024	798回

※1 3月31日までの延べ視聴回数。

13 博物館職員の講師依頼等

市内公民館、小・中学校、高校、他自治体等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した（これに類するものも記載）。

依頼件数 計 86 件

聴講者 延べ 3,393 人

<一般の講師派遣>

	演題等	依頼者	分野	月日	場所	担当
1	令和6年度新採用職員研修(4月)「相模原の歴史」	相模原市人材育成課	歴史	4月5日	けやき会館	眞壁ゆい
2	忠生公園自然観察会「森と水辺の春の生きものを見つけよう」	忠生公園 忠生がにやら自然館	生物	4月7日	町田市忠生公園当館	秋山幸也
3	バス遺跡見学会	長柄桜山古墳を守る会	考古	4月12日	当館・田名向原遺跡公園・勝坂遺跡公園	長澤有史
4	四季の星座と星座早見の使い方	サロン畠ヶ中	天文	4月18日	畠ヶ中自治会館	田子智大
5	環境学習セミナー「ツバメの巣の分布調査」	エコパークさがみはら	生物	4月20日	エコパークさがみはら	秋山幸也
6	自然観察会「黄色い花の見分けをしよう」	法務省矯正局	生物	5月11日	中央区小原公園	秋山幸也
7	オーサーズカフェ「オーロラが輝く惑星”地球”」	公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム	天文	5月11日	ユニコムプラザさがみはら	里見聰一
8	花ごよみ調査 勉強会	エコパークさがみはら	生物	5月15日	エコパークさがみはら	秋山幸也
9	春の自然観察会 野草編	稲城市立Ⅰプラザ	生物	5月19日	稲城市立Ⅰプラザ	秋山幸也
10	アースウォッチジャパントーク「タンポポの話」	NPO 法人アースウォッチジャパン	生物	5月17日	オンライン	秋山幸也
11	勝坂遺跡活用事業(遺跡関係)	相模原市文化財保護課	考古	5月21日	勝坂遺跡公園	長澤有史
12	春の自然観察会 野鳥編	稲城市立Ⅰプラザ	生物	5月26日	稲城市立Ⅰプラザ	秋山幸也
13	「相模原こもれび会員研修会」講演会	NPO相模野こもれび	生物	6月23日	当館	秋山幸也
14	歴史講座「横山党と相原・平安後期から鎌倉時代～その歴史をさぐりましょう～」	相模原市立相原公民館 相原の歴史をさぐる会	歴史	7月6日	相原公民館	眞壁ゆい
15	親子全力クラブ 自然観察会「木・葉」	大沢公民館	生物	7月6日	大沢公民館	秋山幸也

令和6年度 相模原市立博物館 年報

16	光明学園相模原高等学校 社会科特別講座	光明学園相模原高等学校	考古	7月12日	当館	長澤有史
17	2024年度さがみはら地域づくり大学「相模原の歴史を知ろう」	ユニコムプラザさがみはら	歴史	7月13日	ユニコムプラザさがみはら	眞壁ゆい
18	令和5年度活動報告会	エコパークさがみはら	生物	7月14日	エコパークさがみはら	秋山幸也
19	自然観察指導員研修	さがみはら緑の風	生物	7月21日	当館及び周辺	秋山幸也
20	上溝番田の神代神楽資料整理報告及び展示解説	相模民俗学会	民俗	7月21日	当館	山本菜摘
21	サマーアカデミーみやがせ 「自然観察会」	宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	生物	7月27日	清川村宮ヶ瀬湖畔園地	嶋本習介
22	セミの羽化観察会	大野南公民館	生物	8月3日	大野南公民館・相模大野中央公園	嶋本習介
23	自然環境観察員 第1回企画会議	エコパークさがみはら	生物	8月9日	エコパークさがみはら	秋山幸也
24	野生動物サマースクール 2024	相模原市鳥獣被害対策協議会	生物	8月17日	当館	秋山幸也 嶋本習介
25	花ごよみ調査 勉強会	エコパークさがみはら	生物	8月18日	当館・樹林地	秋山幸也
26	石器文化研究会 例会	石器文化研究会	考古	9月14日	当館	長澤有史
27	「秋にあそぶ」～秋の星座・プラネタリウム体験～	相原公民館青少年部	天文	9月21日	相原公民館	里見聰一
28	小笠原のカメムシ研究 ホップ、ステップ、…？	環境省小笠原自然保護官事務所	生物	9月25日	小笠原世界遺産センター及びオンライン	嶋本習介
29	令和6年度新採用職員研修 (10月)「相模原の歴史」	相模原市人材育成課	民俗	10月2日	けやき会館	山本菜摘
30	田名成人学級「相模原の歴史」	相模原市立田名公民館	歴史	10月9日	田名公民館	眞壁ゆい
31	自然観察指導員研修	さがみはら緑の風	生物	10月13日	市博及び周辺	秋山幸也
32	大野仲間カレッジ	大野南公民館	地質	10月13日	大野南公民館	河尻清和
33	令和6年度第58回全国野生生物保護活動発表大会審査会	公益財団法人日本鳥類保護連盟	生物	10月18日	イマジナス(IMAGINUS)	秋山幸也
34	石器づくり実演	田名向原遺跡旧石器時代学習館	考古	10月19日	田名向原遺跡公園	長澤有史
35	星が丘公民館すずかけ学級	相模原市立星が丘公民館	歴史	10月24日	星が丘公民館	眞壁ゆい
36	川原石のふしぎ～自分だけのお気に入りの石図鑑をつくろう～	田名向原遺跡旧石器時代学習館	地質	10月26日	田名向原遺跡旧石器時代学習館、相模川川原	河尻清和

令和6年度 相模原市立博物館 年報

3 7	遺跡探訪 田名塩田の旧石器・縄文を探る	田名向原遺跡 旧石器時代学習館	考古	11月 9日	田名向原遺跡旧石器時代学習館、同施設周辺	長澤有史
3 8	むしむしふゆごもり大作戦	横浜国立大学里山 ESD 研究拠点	生物	11月 10日	横浜国立大学教育学部美術棟及び周辺の森	嶋本習介
3 9	火山がつくった相模野台地	サロン畠ヶ中	地質	11月 21日	畠ヶ中自治会館	河尻清和
4 0	歴史講座「わが市・わが町今昔物語～相模原市の70年を振り返る～」	相模原市立大野中公民館	歴史	11月 23日	大野中公民館	眞壁ゆい
4 1	令和6年度第58回全国野生生物保護活動発表大会審査会	公益財団法人日本鳥類保護連盟	生物	11月 27日	中央合同庁舎5号館(環境省)	秋山幸也
4 2	全体テーマ調査結果検討会	エコパークさがみはら	生物	12月 1日	エコパークさがみはら	秋山幸也
4 3	相模原を知る学習会	新彰会	歴史	12月 12日	大野北公民館	眞壁ゆい
4 4	令和6年度小笠原諸島における昆虫等保全推進のためのワークショップ	一般財団法人自然環境研究センター	生物	12月 25日	オンライン	嶋本習介
4 5	2万年前の相模原	相模原市文化財調査・普及員	考古	12月 26日	当館	長澤有史
4 6	「わお！な生きものフォトコンテスト」における審査員派遣	公益財団法人日本自然保護協会	生物	1月中旬～下旬	公益財団法人日本自然保護協会事務局	秋山幸也
4 7	冬の星空観望会	陽光台公民館	天文	1月 17日	陽光台公民館	里見聰一 田子智大
4 8	自然環境観察員 第2回企画会議	エコパークさがみはら	生物	1月 22日	エコパークさがみはら	秋山幸也
4 9	自然観察会	(公財)神奈川県公園協会津久井湖城山公園	生物	1月 26日	津久井湖城山公園	秋山幸也
5 0	相模台公民館成人学級 さがみはらの歴史『古墳～平安時代』	相模台公民館	考古	1月 29日	相模台公民館	長澤有史
5 1	歴史講座～相模原の歴史～	相模原市立津久井中央公民館	歴史	2月 15日	津久井中央公民館	眞壁ゆい
5 2	相模原の歴史	相模原市民会館	歴史	2月 27日	相模原市民会館	眞壁ゆい
5 3	コクゾウムシの生体調査、ぶらり相模の盆地状穴	相模原市文化財調査・普及員	考古	2月 27日	当館	領家玲美
5 4	津久井城まつり 歴史講座	県立津久井湖城山公園	考古	3月 2日	津久井湖城山公園	長澤有史

令和6年度 相模原市立博物館 年報

5 5	小笠原諸島の昆虫類等に関するフォーラム	環境省小笠原自然保護官事務所	生物	3月2日	オンライン	嶋本習介
5 6	勝坂遺跡活用事業「縄文ムラの地形観察～段丘を歩いて湧水を探ろう～」	相模原市文化財保護課	地質	3月9日	勝坂遺跡公園	河尻清和
5 7	「さがみはら地域探検隊」博物館見学	ユニコムプラザさがみはら	全般	3月9日	当館	眞壁ゆい
5 8	相模原の気候と気候変動	城山公民館（城山エコミュージアム）	天文	3月9日	城山公民館	田子智大
5 9	啓蟄むしむし大作戦	横浜国立大学里山ESD研究拠点	生物	3月16日	横浜国立大学教育学部 美術棟1階彫刻室および周辺の森	嶋本習介
6 0	石器づくり実演	田名向原遺跡旧石器時代学習館	考古	2月1日(土)、2月24日(祝)、3月15日(土)	旧石器ハテナ館内	長澤有史

<学校への講師派遣>

	演題等	依頼者	分野	月日	場所	担当
1	上溝南高校ホタル観察会事前学習会	上溝南高校	生物	4月23日	上溝南高校	秋山幸也
2	令和6年度青山学院大学青山スタンダード科目寄附講座「地方行政を通して相模原を知る」(相模原の歴史と自然・博物館ボランティアの活動について)	相模原市市民協働推進課	歴史	5月8日	青山学院大学相模原キャンパス	眞壁ゆい
3	地学フィールドワーク	関東学院中高 地学部	地質	5月19日	古淵、当館	河尻清和
4	中央大学日本史学専攻新入生オリエンテーション	中央大学文学部日本史学専攻	歴史	5月19日	当館	眞壁ゆい
5	小山中タンポポプロジェクト	アースウォッチジャパン	生物	5月23日	小山中	秋山幸也
6	上溝南高校ホタル観察会	上溝南高校	生物	5月24日	田名望地	秋山幸也
7	博物館見学・講義	女子美術大学	地質	5月30日	当館	河尻清和
8	カイコのはなし	作の口小学校	生物	5月31日	作の口小学校	秋山幸也
9	カイコのはなし	大島小学校	生物	6月4日	大島小学校	秋山幸也
10	カイコのはなし	新宿小学校	生物	6月5日	新宿小学校	秋山幸也
11	カイコのはなし	弥栄小学校	生物	6月6日	弥栄小学校	秋山幸也
12	市民協働プロジェクトにおける博物館見学	青山学院大学シビックエンゲージメントセンター	全般	6月8日	当館	河尻清和
13	学芸員課程見学実習	桜美林大学	全般	6月15日	当館	眞壁ゆい
14	総合の活動についての助言	富士見小学校	生物	7月3日	富士見小学校	秋山幸也

令和6年度 相模原市立博物館 年報

15	博物館見学	玉川大学教育 博物館	全般	7月6日	当館	長澤有史
16	カイコ教室	マミー保育園 相模大野	生物	7月25日	マミー保育園相 模大野	秋山幸也
17	樹木についての授業	作の口小学校	生物	8月29日	作の口小学校	秋山幸也
18	2年生生活科「生きものなか よし大作せん」	富士見小学校	生物	9月10日	富士見小学校	秋山幸也 嶋本習介
19	チョウのはなし	富士見小学校	生物	9月10日	富士見小学校	嶋本習介
20	麻布大学野生動物学実習	麻布大学獣医学部	生物	10月5日	当館	秋山幸也
21	相模原市オリジナルマイアーブ 製作に向けたワークショッ ップ	相模女子大高 等部	生物	10月17 日	相模女子大高等 部	秋山幸也
22	法務省矯正局タンポポプロ ジェクト関連出張授業	小山小学校	生物	11月27 日	小山小学校	嶋本習介
23	法務省矯正局タンポポプロ ジェクト関連出張授業	小山中学校	生物	11月29 日	小山中学校	秋山幸也
24	学芸員課程見学実習	桜美林大学	全般	12月7日	当館	秋山幸也
25	弥栄ワンダーラボ「今、あらためて相模原市立博物館・地 学分野の展示を見てみよう！」	相模原弥栄高 校	地質	1月22日	当館	河尻清和
26	啓蟄菰外し・虫の観察会	横浜国立大学 里山 ESD 研 究拠点	生物	3月7日	横浜市立南高等 学校附属中学校	嶋本習介

14 JAXAとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」

JAXA相模原キャンパス内の宇宙科学探査交流棟内に博物館紹介コーナーを設置し、出張展示等を行っている。また、交流棟と博物館をまたぐスタンプラリーを実施した。

	分野	事業名
1	歴史	キャンプ淵野辺の返還 ※R7までの継続事業

15 市民との協働

市民の会9団体とともに調査・研究・普及等の活動を行った。

登録者数 233人（延べ参加者数1,753人）

	名称	登録者	参加者・活動回数	内容
1	市民学芸員	43人	延べ646人 87回	クイズラリー、学習資料展の企画・準備等を行った。また、『市民学芸員かわら版』の作成、「相模原ふるさといろはかるた」の出張展示などを行った。
2	相模原植物調査会	58人	延べ98人 35回	市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、博物館実習生の標本取扱い等の指導を行った。
3	相模原地質研究会	16人	延べ116人 90回	相模野台地の地形調査および寄贈された標本の整理を行った。また、地質分野の教育普及事業の準備と運営を行った。
4	相模原縄文研究会	17人	延べ236人 37回	寄贈された考古資料の整理を行った。
5	相模原市立博物館天文クラブ	14人	延べ129人 45回	博物館と協働して、月面等の写真撮影及び資料化、身近に起きる天文現象の記録と資料化を図り、資料の保存事業や展示観測会等の教育普及事業に協力する活動を行った。
6	福の会	6人	延べ118人 27回	寄贈された神楽資料等の整理及び企画展の準備作業を行った。収蔵庫や民俗関係の常設展示室の清掃作業などを実施した。
7	さがみホネホネ団	48人	延べ320人 24回	博物館で保管しているものを中心とした鳥獣の冷凍資料を標本化し、あわせて解剖や外部計測などの専門的な技術を習得した。さらに、フクロウの食性分析作業を行った。
8	相模原水生動物調査会	20人	延べ20人 1回	市域を中心とした水域で水生動物調査を行い、室内で同定学習会などを実施した。
9	ぶらり！盃状穴調査隊	11人	延べ70人 13回	今年度から市民調査隊として結成。市域の石造物を対象に、盃状穴の有無について悉皆調査を行った。

IV 資料管理

1 博物館収蔵資料点数

博物館 館内収蔵資料点数リスト

分野	分類	保管場所	"収蔵点数 (R7.3.31現在)"	増減	単位
考古	考古資料	考古資料収蔵庫	6,967	231	箱
		自然・歴史展示室	898	0	点
		他館等長期貸出資料	679	3	点
		分野 計	8,544	234	箱/点
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	5,799	1	点
		生活資料収蔵庫	1,217	0	点
		特別収蔵庫	67,641	12	点
		フィルム収蔵庫	14	9	展
		自然・歴史展示室	126	0	点
	軍事資料	古文書収蔵庫	23	0	点
		生活資料収蔵庫	1,664	0	点
		自然・歴史展示室	34	0	点
	古文書等市史資料 (旧役場文書は除く)	古文書収蔵庫	3,323	0	点
		市史編さん室	797	0	点
		特別収蔵庫	21,742	0	点
	購入資料	特別収蔵庫	112	0	点
	地図・写真資料	図面保管庫	5,916	0	点
		分野 計	108,408	22	点
民俗	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫	23,504	300	点
		大型資料収蔵庫			
		自然・歴史展示室	141	0	点
		他館等長期貸出資料	36	0	点
		分野 計	23,681	300	点
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	286	2	点
		自然・歴史展示室	50	0	点
	岩石・鉱物資料等	地質資料収蔵庫等	4,371	69	点
		自然・歴史展示室	34	0	点
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	7,098	2	点
		自然・歴史展示室	12	0	点
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	214	10	点
		地質資料収蔵庫等	741	0	点
	砂礫等資料	自然・歴史展示室	5	0	点
		地質資料収蔵庫等	50	0	点
	剥ぎ取り資料	自然・歴史展示室	4	0	点
		分野 計	12,865	83	点
動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	0	点
		自然・歴史展示室	16	0	点
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	40,151	1,000	点
		自然・歴史展示室	18	0	点
	小動物等	液浸標本収蔵庫等	2,891	0	点
		自然・歴史展示室	14	0	点
	鳥類	動植物資料収蔵庫等	201	0	点
		自然・歴史展示室	40	0	点
	哺乳類	動植物資料収蔵庫等	30	0	点
		自然・歴史展示室	4	0	点
		分野 計	43,405	1,000	点
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	57,378	138	点
		自然・歴史展示室	21	0	点
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	0	点
		分野 計	57,267	185	点
天文	天文資料	フィルム収蔵庫	2,028	0	点
		特別収蔵庫	0	0	点
		天文展示室等	36	5	点
		分野 計	2,064	5	点
		合 計	256,372	1,782	点

館内収蔵美術品資料点数リスト

令和6年度 相模原市立博物館 年報

館内収蔵美術品(文化振興課扱)

分 野	分 類	保管場所	”収蔵点数 (R7.3.31現在)”	増減	単位
美術品	絵画	美術品収蔵庫	423	5	点
	書	美術品収蔵庫	56	0	点
	彫刻	美術品収蔵庫	2	0	点
	写真	フィルム収蔵庫	2,112	0	点
合 計			2,593	5	点

館内収蔵市史資料

分 野	分 類	保管場所	収蔵点数 (R7.3.31現在)	増減	単位
市史資料	行政資料 (旧役場文書)	古文書収蔵庫	600	0	点

博物館関係施設収蔵資料点数リスト

分 野	分 類	施設名	収蔵点数 (R7.3.31現在)	増減	単位
考古	考古資料	藤野第2資料保管庫	411	0	箱
		城山郷土資料保管庫	309	0	箱
		吉野宿ふじや	75	0	点
	分野 計		795	0	展/箱
歴史	歴史資料	尾崎豊堂記念館	4,078	0	点
		小原本陣・小原の郷	254	0	点
		城山郷土資料保管庫	0	0	箱
		吉野宿ふじや	669	0	点
	分野 計		5,001	0	点
民俗		小原本陣・小原の郷	401	0	点
		城山郷土資料保管庫	850	0	点
		吉野宿ふじや	1,469	-1	点
分野 計			2,720	-1	点
動物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	0	点
合 計			8,631	-1	

博物館関係施設別一覧

施 設	分 野	分 類	収蔵点数 (R7.3.31現在)	増減	単位
藤野第2資料保管庫	考古	考古資料	411	0	箱
尾崎豊堂記念館	歴史	歴史資料	4,078	0	点
小原本陣・小原の郷	歴史	歴史資料	254	0	点
	民俗・地理	民俗生活資料	401	0	点
	施設 計		5,144	0	点
	城山郷土資料保管庫	考古	309	0	箱
		歴史	0	0	箱
		民俗・地理	850	0	点
		施設 計	1,159	0	箱/点
吉野宿ふじや	考古	考古資料	75	0	点
	歴史	歴史資料	669	0	点
	民俗・地理	民俗生活資料	1,469	-1	点
	動物	昆虫類	115	0	点
	施設 計		2,328	-1	
合 計			8,631	-1	

2 収集・整理

分野	内 容
考古	発掘調査報告書刊行済の出土品の移管及び再整理、寄贈考古資料の整理作業、鉄製品の保存処理
歴史	寄贈・寄託(予定含む)歴史資料の分類整理、尾崎行雄(豊堂)関係資料の分類整理
民俗	民俗資料の収集、収蔵資料のカード・収蔵番号の整備、旧津久井郷土資料室所蔵資料の確認等の諸整理
動物	動物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業、サイエンスミュージアムネット(S-Net)及びGBIFへの標本データの提供
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理
天文	天体・天文現象・太陽の撮影やデータの整理、インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集、プラネタリウムリニューアルに向けた全国のプラネタリウム設置状況及び最新機器の情報収集や整理

3 有害生物管理の実施

(1) 受入れ資料のくん蒸

殺菌・殺虫・殺卵のため、ガス薬剤（エキヒュームS）を用いた定期的なくん蒸を一被覆法により洗浄一乾燥室において2回実施した（8月・2月）。対象は、主に新規受入れ資料とした。周辺環境に配慮し、排気中のガス濃度が0 ppmになるよう活性炭吸着排気を行った。

(2) 有害生物調査

7月～10月に収蔵庫、作業室及び特別展示室を対象として、各種トラップを用いた有害生物の侵入状況の調査を行った。また、特に捕虫数が多い収蔵庫5室を対象として、ミスト製剤（ブンガノン）による空間殺虫処理を2回実施した（9月・2月）。

4 資料の特別利用

利用総件数110件（令和6年度中に利用申請されたもの）<申請日順>

	申請者	利用区分	利用目的	利用期間	分野	利用資料
1	相模川ふれあい科学館	館外貸出	展示	4/12～6/30	動物	サギ剥製標本
2	相模原市相模湖まちづくりセンター	館外貸出	展示	4/1～3/31	歴史	御小休看板
3	早稲田大学	撮影・閲覧	調査研究	4/4	歴史	相模原市史現代資料編ほか
4	個人	撮影・閲覧・複写	調査研究	7/15	歴史	昭和43年佐藤昌寿手記「鳩川農学校設立について」ほか
5	個人	閲覧・複写	調査研究	4/12	歴史	旧田名村 田畠高之事 家数六十一軒(寛文2)ほか21点
6	日本ケーブルテレビジョン	撮影・その他	番組制作	5/19～8/19	考古	大日野原遺跡3次調査 SK03出土土器

令和6年度 相模原市立博物館 年報

7	個人	写真利用・その他	出版掲載	4/19	市史	上川尻村八木平介家文書
8	株式会社日経映像	写真利用・その他	番組制作	6/1	民俗	写真データ「一層式洗濯機」
9	静岡県富士山世界遺産センター	写真利用・その他	展示	12/7～1/26	民俗	写真データ「相模原市構想鳥瞰」
10	相模原市文化財保護課	館外貸出・写真利用	展示	5/31～7/3	考古	谷原古墳群出土の管玉
11	厨子王株式会社	写真利用	番組制作	5/30	動物	クワコの幼虫の写真
12	個人	閲覧	調査研究	5/26	歴史	『上九沢村笹野(ハ)家文書19 冊 家1』(複本)ほか1点
13	株式会社ジッピー・プロダクション	写真利用	番組制作	6/5～6/4	地質	鬼界葛原火山灰の顕微鏡写真
14	中央大学	館外貸出	調査研究	7/22～8/13	考古	上中丸遺跡出土の縄文土器
15	東京地方税理士会相模原市部	写真利用・その他	説明資料	9/11	市史	橋本駅旧駅舎写真・橋本駅上空写真
16	個人	貸出	調査研究	7/4～7/10	考古	田名塩田遺跡群出土の石匙
17	株式会社ジャンプコーポレーション	写真利用・その他	番組制作	6/30～	民俗	写真データ「乳牛の飼育」
18	個人	複写	調査研究	6/21	歴史	1/2,500 地形図 山王(昭和 58 年)ほか
19	相模大野サマーフェスタ実行委員会	館外貸出	展示	7/25～8/5	歴史	東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会資料 19 点
20	相模原市立史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館	館外貸出・その他	展示	6/30～7/31	考古	勝坂遺跡第 104 次調査出土水煙把手、獣面把手
21	個人	閲覧・複写	調査研究	6/30	歴史	国土地理院 1/25,000 地形図 原町田、上溝、座間(昭和 30、32 年発行)
22	相模大野サマーフェスタ実行委員会	撮影	出版掲載	7/10	歴史	東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会資料 18 点
23	個人	閲覧・撮影	調査研究	7/19～7/20	考古	下九沢山谷遺跡、下森鹿島遺跡
24	神奈川県教育員会文化遺産課	閲覧・撮影	調査研究	7/19	考古	勝坂遺跡出土品ほか 15 遺跡
25	個人	閲覧・撮影	調査研究	7/18	考古	下溝鳩川遺跡ほか 3 遺跡
26	豊田市立博物館	写真利用	展示	7/19	考古	下原遺跡ほか
27	豊田市立博物館	貸出	展示	9月～12月(予定)	考古	下原遺跡ほか

令和6年度 相模原市立博物館 年報

28	相模原市立史跡 田名向原遺跡 旧石器時代学習館	館外貸出・ その他	展示	7/31～ 8/31	考古	田名半在家遺跡、矢掛久保遺跡、中村遺跡、風間遺跡群
29	個人	閲覧・ 撮影	調査研究	7/31	市史	相模原市議会会議 録
30	若松小学校	写真利用	教材利用	9/1～ R7/8/3 1	地質	常設展示室剥ぎ取り 標本写真
31	個人	閲覧・ 撮影	普及事業	8/2	市史	神奈川県新聞切抜 帳6点
32	(公財)相模原市ま ち・みどり公社	写真利用	出版掲載	8/10～ 8/25	植物	ツタウルシ紅葉写真
33	テレビ朝日 スーパーJチャンネ ル	写真利用・ その他	番組制作	8/22	民俗	鈴木重光氏資料(絵 葉書)ほか
34	横須賀市生涯学習 課	閲覧・ 撮影	調査研究	8/8	考古	谷原古墳群および磯 部横穴墓出土の直 刀・土器など
35	個人	写真利用	出版掲載		民俗	『土の香』第1巻第1 号
36	石器文化研究会	閲覧・ 撮影	調査研究	9/14	考古	下森鹿島遺跡ほか
37	Zプラス株式会社	写真利用	番組制作	8/20～ 9/7	市史	桑園風景 東大沼 1 983(昭和58)年
38	相模原市立市民・大 学交流センター	写真利用	出版掲載	9/11～ 11/23	歴史	博物館前景航空写 真
39	相模原市立史跡 田名向原遺跡 旧石器時代学習館	館外貸出・ その他	展示	8/30～ 10/1	考古	新戸遺跡第5地点出 土の軽石製石製品
40	(株)ABC リブラ	写真利用	番組制作	9/13	動物	サギ写真
41	厚木市	館外貸出・ 写真利用	展示	9/25～ 12/27	考古	大日野原遺跡出土 の土偶装飾付深鉢 土器・橋本遺跡出土 の土偶など
42	有隣堂	写真利用	出版掲載	9/20～	考古	大日野原遺跡出土 の土偶装飾付深鉢 土器
43	石器文化研究会	閲覧・ 撮影	調査研究	9/14	考古	淵野辺嶽野内下遺 跡ほか2遺跡
44	タウンニュース	写真利用	出版掲載	9/30	市史	上溝の町役場外觀 写真
45	相模原市立 大野中公民館	写真利用	出版掲載	9/25～ 11/23	歴史	「相模原市構想鳥瞰 図」ほか 2 点
46	明治大学博物館	閲覧・ 撮影ほか	調査研究	10/6	考古	田名塩田遺跡群B地 区および当麻亀形遺 跡
47	株式会社あお	写真利用・ その他	番組制作	10/20	民俗	画像データ「養蚕」 13 点
48	かながわ考古学財団	写真利用	展示	9/24	考古	大日野原遺跡出土 の土偶装飾付深鉢 土器の写真

令和6年度 相模原市立博物館 年報

49	相模原市立史跡 田名向原遺跡 旧石器時代学習館	館外貸出・ その他	展示	9/27～ 10/31	考古	新戸釣瓶下遺跡の 畿内系土師器坏
50	株式会社あお	写真利用・ その他	番組制作	10/20	民俗	画像データ「糸取り の様子」
51	個人	写真利用・ その他	出版掲載	10/15	民俗	(写真データ)内郷村 調査名簿(鈴木重光 『雜綴乙種自明治 41～大正15』)
52	南山大学	その他(3Dス キャン)	調査研究	10/30	考古	田名花ヶ谷戸遺跡 他
53	相模原市立史跡 田名向原遺跡 旧石器時代学習館	館外貸出・ その他	展示	10/29 ～11/29	考古	津久井城跡御屋敷 曲輪出土の小柄・刀 子
54	個人	閲覧・ 撮影	調査研究	10/25、 26	考古	下九沢山谷遺跡、下 森鹿島遺跡
55	かながわ考古学財団	展示貸出	展示	11/1～ 11/19	考古	大日野原遺跡出土 の人体文深鉢土器、 蛇体装飾付顔面把 手
56	相模原市 文化財保護課	写真利用	出版掲載	10/13	民俗	上矢部薬師堂本開 帳 1991年調査写 真2点
57	神奈川県教育員会 文化遺産課	写真利用	出版掲載	11/15～	考古	下原遺跡ほか 14 遺跡
58	相模原市立 青葉小学校	撮影	教材利用	10/22 ～ 12/24	地質	常設展示室剥ぎ取り 標本写真
59	個人	複写	調査研究	10/19～	歴史	相模原市都市計画 図・相模原町全図
60	個人	閲覧・ 撮影	調査研究	11/1, 11/3, 11/4	考古	橋本遺跡
61	桜美林中学校	写真利用	調査研究	10/29	地質	関東の地質図
62	神奈川県教育員会 文化遺産課	資料貸出	展示	11/29～ 3/31	考古	勝坂遺跡ほか 16 遺跡
63	富山県[立山博物 館]	撮影・ 写真利用・ 閲覧	調査研究	11/19	歴史	横浜近郊外国人遊 歩規定範囲図
64	個人	閲覧・ 撮影	調査研究	11/3	考古	中村遺跡、下九沢山 谷遺跡
65	株式会社タウン ニュース社	写真利用	出版掲載	11/14～	市史	『相模原市史 現代 図録編』掲載写真 (スキガ原 清新付 近ほか)
66	神奈川県立 歴史博物館	撮影・ 写真利用	調査研究	11/6	歴史	小原宿絵図(屋敷・ 間口間数・家主名・ 地子馬役・人足約 記)ほか 2点

令和6年度 相模原市立博物館 年報

67	神奈川県立歴史博物館	撮影・写真利用・閲覧	調査研究	11/6	歴史	「相州津久井青野原と同県鳥屋村山論裁許之事」ほか2点
68	個人	閲覧・撮影	調査研究	11/17	考古	下九沢山谷遺跡、中村遺跡、横山5丁目遺跡
69	個人	撮影・閲覧	調査研究	12/11	歴史	神奈川県高座郡相原村全図三千分之一(昭和3.8)ほか2点
70	相模川ふれあい科学館	館外貸出	展示	12/6～3/10	動物	鳥類剥製
71	株式会社あお	写真利用・その他	番組制作	11/15	民俗	画像データ「桑畠」1点
72	個人	閲覧・撮影	調査研究	11/3	考古	横山坂遺跡、当麻・亀形遺跡、下溝上谷開戸遺跡
73	岩宿博物館	撮影・館外貸出	展示	12/12～3/28	考古	勝坂遺跡第45次調査出土資料
74	個人	撮影・閲覧	調査研究	11/26	民俗	漁具7点
75	相模原市立史跡田名向原遺跡 旧石器時代学習館	館外貸出・その他	展示	11/28～12/27	考古	下九沢宮下遺跡、当麻亀ノ甲・西原遺跡出土の亀の子形土製品
76	個人	閲覧・撮影	調査研究	12/10, 12/13	考古	橋本遺跡、下森鹿島遺跡
77	個人	閲覧・撮影	調査研究	12/17	考古	小倉原西遺跡、田名塩田遺跡群B区
78	株式会社国書刊行会	写真利用	出版掲載	令和7年6月ごろ	考古	大日野原遺跡出土の土偶装飾付深鉢土器の写真ほか
79	株式会社東京ビリビリ団	写真利用	番組制作	12/29	動物	フクロウ風切羽写真
80	かながわ考古学財団	写真利用	展示	12/21～12/22	考古	大日野原遺跡出土の土偶装飾付深鉢土器の写真
81	岩宿博物館	写真利用	展示	1/25～3/9	考古	勝坂遺跡第45次調査出土資料
82	相模原市立史跡田名向原遺跡 旧石器時代学習館	館外貸出・その他	展示	12/27～1/31	考古	下原遺跡 蛇装飾付土器
83	個人	撮影・写真利用・閲覧・その他	調査研究	1/23～1/24	考古	勝坂有鹿谷祭祀遺跡の銅鏡
84	個人	撮影	調査研究	1/26	考古	橋本遺跡、田名花ヶ谷戸遺跡、上中丸遺跡
85	相模原市立若草小学校	写真利用	出版掲載	1/10	動物	カイコ成虫写真

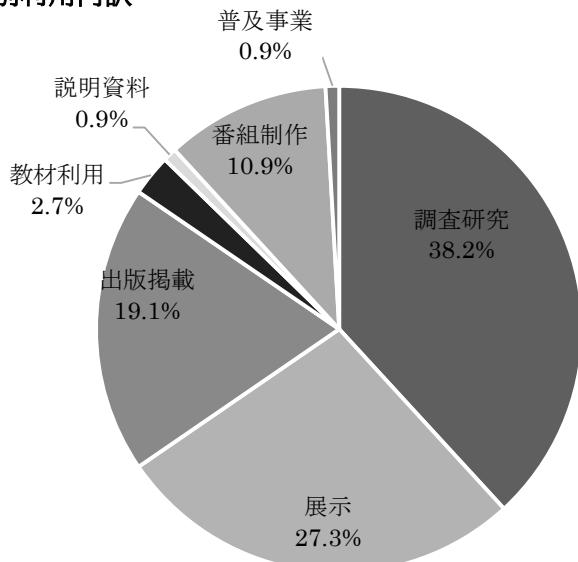
令和6年度 相模原市立博物館 年報

86	大正大学文学部歴史学科	貸出	調査研究	1/26～2/26	考古	下原遺跡の非掲載黒曜石製石器
87	国立歴史民俗博物館	館外貸出	展示	4/1～R7/3/3 1	考古	田名向原遺跡出土石器
88	相模原市立史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館	館外貸出	展示	2/1～4/8	考古	橋本遺跡、田名塩田遺跡群、上溝久保ヶ谷戸遺跡、当麻亀形遺跡、中村遺跡
89	個人	撮影・閲覧	調査研究	1/18	歴史	畠地かんがい用水資料
90	株式会社 栄風舎	写真利用	出版掲載	2/1～3/31	民俗	衣料関係画像データ
91	相模原市立史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館	館外貸出・その他	展示	1/31～2/28	考古	津久井城跡出土の天目茶碗ほか
92	相模原市中央区役所区政策課	写真利用	出版掲載	2/15	動物	鳥類写真
93	青森県三内丸山遺跡センター	写真利用	展示	2/25から	考古	田名向原遺跡の住居状遺構
94	個人	写真利用	出版掲載	2/20から	考古	中村遺跡、下北沢山谷遺跡
95	テレビ神奈川	写真利用	出版掲載	2/20～3/5	歴史	尾崎行雄 大礼服写真
96	個人	写真利用	調査研究	3/1～	考古	勝坂有鹿谷祭祀遺跡の銅鏡
97	厚木市文化魅力創造課	閲覧・館外貸出し・複写	調査研究	2/25～3/21	図書	『赤柴八重藏追悼録』
98	相模原市立史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館	館外貸出・その他	展示	2/28～3/31	考古	中野大沢出土の弥生土器
99	相原の歴史をさぐる会	写真利用	出版掲載	3/7	民俗	養蚕関連写真
100	相模原市觀光政策課	写真利用	出版掲載	3/6	歴史	尾崎行雄写真(大礼服)
101	東京書籍株式会社	写真利用	出版掲載	3/20	動物	カイコ誘因腺写真
102	神奈川県立歴史博物館	撮影	調査研究	3/5	歴史	相模湖町小原清水家資料 17点
103	個人	撮影・閲覧	調査研究	3/12	考古	新戸遺跡第5地点出土の石棒
104	津久井湖城山公園	館外貸出	展示	4/1～3/31	考古	津久井城跡御屋敷曲輪出土遺物
105	個人	撮影・閲覧	調査研究	3/11	歴史	津久井郷土資料室旧蔵絵葉書 126点、相模湖町小原清水家資料 23点
106	茅ヶ崎市博物館	撮影・閲覧	調査研究	3/26	考古	下森鹿島遺跡・矢掛久保遺跡ほか
107	市文化財保護課	館外貸出	展示	4/1～3/31	考古	勝坂遺跡および田名向原遺跡等出土品

令和6年度 相模原市立博物館 年報

108	個人	閲覧	調査研究	3/25	市史	チラシ「原水爆禁止の署名と大講演会の開催についてお願い」ほか8点
109	相模原市立史跡 田名向原遺跡 旧石器時代学習館	館外貸出・ その他	展示	3/29～ 4/30	考古	川尻中村遺跡第5地点出土の石核・当麻芹沢遺跡出土の黒曜石原石
110	中央大学	館外貸出	教材利用	4/1～ 3/31	考古	大日野遺跡出土の縄文土器

資料の特別利用内訳



利用目的	件数
調査研究	42
展示	30
出版掲載	21
教材利用	3
説明資料	1
番組制作	12
普及事業	1
合計	110

5 JAXA宇宙科学研究所からの借用物

No.	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	大西宇宙飛行士がISSへ持ち込んだ、「はやぶさ2」と小惑星リュウグウの模型	H29.8.26		天文展示室
2	イオンエンジンμ10模型	H30.6.8		天文展示室
3	カーボングリッド	H30.6.8		天文展示室
4	「あけぼの」1/5模型	H30.7.21		天文展示室
5	電波天文衛星「はるか」1/20模型	R5.4.4		天文展示室
6	「れいめい」(INDEX)熱・構造試験モデル	R5.4.4		エントランス
7	「SLIM」1/8模型	R6.11.20	R7.1.7	特別展示室
8	「SLIM」燃料・酸化剤一体型タンクBBM	R6.11.25	R7.4.1	特別展示室
9	凹凸月球儀(着色なしタイプ)	R6.11.25	R7.4.1	特別展示室

その他物品

No.	資料名	借用開始日	返却日	保管場所
1	はやぶさのぼうけん日誌台	不明		天文展示室
2	スタンプラリー台(はやぶさ)	H30.2.2		エントランス
3	スタンプラリー台(いんせき)	H30.2.2		天文展示室
4	「はやぶさ」パネル類(3点)	H29.9.11		エントランス

V 調査研究

分野	担当者	内容と成果
考古	長澤 有史 領家 玲美	<p>勝坂遺跡や田名向原遺跡の史跡指定の周年事業を計画し、遺跡の調査研究を深め、それぞれ記念事業として実施した。明治大学博物館と合同で黒曜石の産地推定を行い、その成果を当館研究報告に掲載した。また、報告書の非掲載資料を点検し、研究上重要な資料を抽出し当館研究報告に掲載した。</p> <p>さらに、当館資料を含む旧石器時代終末の石器群について論考を執筆し、外部雑誌に投稿した。そのほかにも文化財保護課、神奈川県公園協会とともに津久井城跡城坂曲輪群 7号曲輪の発掘調査を市民協働調査で実施し、当館エントランスにて調査成果の速報展を開催した。</p> <p>相模原市域の石造物を対象とした盃状穴調査のため、市民調査隊を結成し、新磯野・古淵を悉皆調査した研究成果の一部を研究報告第33集に掲載した。昨年度に引き続き、市民協働でコクゾウムシの生育調査と野生のツルマメ・ヤブツルアズキの分布調査を行った。</p>
民俗	山本 菜摘	<p>寄贈された神楽資料について、福の会と相模里神楽垣澤社中と協働し、整理及び資料調査を行い、その成果を民俗企画展「上溝番田の神代神楽」にて公開した。</p> <p>また、令和6年度に地質の学芸員と共同で実施した、相模原市内および周辺地域の関東大震災関係の石造物の調査・研究成果の一部を研究報告第33集に掲載した。</p>
歴史	眞壁 ゆい	令和5年度に受入れた上諏訪久保田家旧蔵資料（尾崎行雄関係）について、成蹊大学非常勤講師と共同整理を行い、作成した目録と調査・研究の成果を研究報告第33集に掲載した。また、市民との協働による企画展「学習資料展」の開催にあたり、市制施行後70年間にあった市域の歴史的な出来事を調査し、その成果を展示了。
生物	秋山 幸也 嶋本 習介	市内の動植物相調査を実施し、その中で明らかになった市内に生育・生息する絶滅危惧生物の保全、増殖事業を近隣大学等と連携しながら実施した。また、博物館周辺の樹林地(留保地)において大学等と協力して動物生態調査を実施した。研究成果の一部を研究報告第33集等で報告した。
地質	河尻 清和	相模原市内、相模川・桂川流域及び関東平野西縁部の地形地質調査を実施した。調査・研究成果の一部は日本地質学会第131年学術大会で報告した。また、令和6年度に民俗の学芸員と共同で実施した相模原市内および周辺地域の関東大震災関係の石造物の調査・研究成果の一部を研究報告第33集に掲載した。相模野台地の微地形調査は相模原地質研究会と協働で実施した。富士相模川泥流および御殿場泥流については東京都立大学との共同研究を行った。
天文	里見 聰一 田子 智大	プラネタリウムのリニューアルや企画展を行うにあたり、旧投影機器群の資料化及び体験型展示物化に向けた調査を行った。
		また、ミニ展示「日本初！小型月着陸実証機SLIMの月面着陸成功」の開催にあたり、探査結果などの調査を行った。

・検討会委員等の派遣

令和6年度全国野生生物保護活動発表大会 審査員	秋山 幸也
「神奈川自然誌資料第46号」編集委員	秋山 幸也
小田原市郷土文化館協議会委員	秋山 幸也
国土交通省河川水辺の国勢調査「宮ヶ瀬ダム」アドバイザー	秋山 幸也
丹沢大山自然再生委員会 事業・調査部会長	秋山 幸也
わお！な生きものフォトコンテスト 特別審査員	秋山 幸也
日本民具学会第46回大会実行委員	山本 菜摘
環境省第5次レッドリスト・レッドデータブック 評価チェック シート作成者	嶋本 習介
日本昆虫学会第85回大会運営委員	嶋本 習介
日本地質学会関東支部幹事	河尻 清和
日本地質学会代議員	河尻 清和
神奈川地学会幹事	河尻 清和
石器文化研究会企画幹事	長澤 有史

VI 市史関連事業

1 収集・整理事業

市史及び津久井町史の編さんに際し収集した資料の整理作業を行うとともに、次の市史等の編さんに向けた資料の収集を行った。また、整理された資料を市民やその他団体の利活用に協力した。

2 普及事業

資料の整理・保存及び普及活動を中心に行った。

(1) 市史ミニ展示

※詳細は14頁III3 (2) 10・13・17参照

(2) 市史・町史刊行物の販売

博物館、行政資料コーナー、相模原市書店協同組合加盟店で販売した。

VII 博物館所管施設

1 尾崎鷗堂記念館（緑区又野）



外観



展示室

尾崎鷗堂記念館は、「議会政治の父」といわれた尾崎行雄（鷗堂）を多くの人に知つてもらおうと、生誕地である尾崎家代々の屋敷跡に昭和32年1月に、「尾崎鷗堂うまれ地記念事業委員会」によって建設され開館した。

昭和33年度に旧津久井町に寄贈され、平成2年に「ふるさと創生事業」にて増改築を行い、平成18年3月の市町村合併に伴い相模原市教育委員会が所管引継ぎした。

敷地内には、尾崎自身の筆による「善惡乃標準の碑」が建てられており、館内には写真や肖像画、遺品のほかに幅広い活動の足跡を物語る資料が保存、展示されている。

平成28年2月、協働事業提案制度事業により常設展示をリニューアルした。

(1) 施設概要

ア 所 在 地	相模原市緑区又野691番地
イ 電 話 番 号	042-784-0660
ウ 延べ床面積	229.62m ²
エ 建 物 構 造	木造1階建て
オ 休 館 日	月曜日（休日に当たる日を除く） 休日の翌日（休日・日曜・土曜に当たる日を除く） 年末年始（12月28日～1月3日）
カ 開 館 時 間	午前9時～午後4時30分

(2) 善惡乃標準の碑

敷地内に入って、右手にある秩父産の花崗岩で作られた高さ3メートル、幅50センチメートルの碑面には、「世人乃幸福をます言行ハみな善事之をへらす言行ハみな悪事」の文が刻まれている。碑は、東京都港区・故上木長氏の建立であったが、鷗堂ゆかりの地に保存したいとの希望を受けて、昭和46年に現在の場所に移設された。

(3) 鷗堂桜・里帰り桜



尾崎行雄が東京市長在職中の明治45年、米国ワシントンのボトマック公園に3,000本の桜の苗木を贈り、「日米友好の証」を築いたことはよく知られている。ワシントンから東京都足立区に里帰りしたソメイヨシノなど4品種の桜苗木を「鷗堂桜」と命名、その内の「普賢象」^{ふげんぞう}1本が平成4年、記念館の庭に植樹された。

また、平成24年には桜寄贈100周年を記念し、新たな里帰り桜「ソメイヨシノ」1本が有志により植栽され、平成29

令和6年度 相模原市立博物館 年報

年には「尾崎行雄を全国に発信する会」との協働事業における100本の「里帰り桜」植樹事業のうち「関山」1本を敷地内に植樹した。

(4) 企画展・講演会・展示

「尾崎行雄を全国に発信する会」へ委託し、次の事業を博物館で開催した。

	事業名	実施日	期間中の入館者数	内容・備考
1	【再掲】ミニ展示「第2次憲政擁護運動と尾崎行雄」※1	10/19日(土)～12/27日(金)	25,846人	尾崎行雄の主な活動のひとつである「憲政擁護運動」をテーマとし、尾崎の選挙への考え方や思いを展示。
2	【再掲】近・現代史講演会「バイオテクノロジーの父高峰譲吉 その多様な人間像」※2	R7/2/9(日)	30人	尾崎行雄の桜寄贈に協力した高峰譲吉博士をテーマに講演したもの。 講師 清水 昌さん（高峰譲吉博士研究会理事）

※1 14頁III3 (2) 11の再掲

※2 16頁III4 (1) 7の再掲

(5) 尾崎行雄（粂堂）ゆかりの地マップの増刷

2 吉野宿ふじや（緑区吉野）



外観



2階展示室

吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の宿場で江戸と甲府の中間にあたり、高遠藩・飯田藩・高島藩（諏訪藩）の参勤交代の常宿として栄えた。

「ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていたが、明治29年の大火で焼失し、現在の建物は明治30年頃に建てられた。

平成元年に旧所有者から旧藤野町に建物が寄贈され、平成18年に藤野町指定重要文化財に指定された。

国道20号改良工事（歩道設置）に伴う曳家による移設及び改修が完了し、平成25年7月2日にリニューアルオープンした。また、平成26年4月1日には町屋遺構としての見地から市登録有形文化財に登録された。

平成29年4月から土・日曜・祝日のみの開館としたが、企画展等の際には平日も開館する。

(1) 施設概要

- ア 住 所 相模原市緑区吉野214番地
- イ 電 話 番 号 042-687-5022
- ウ 延べ床面積 392.51m²
- エ 建 物 構 造 木造3階建て

令和6年度 相模原市立博物館 年報

オ 開 館 日　　日曜・土曜・休日（年末年始（12月28日～1月3日）を除く）
 オ 開 館 時 間　午前10時～午後4時

（2）企画展（1事業）

「NPO法人ふじの里山くらぶ」へ委託し、企画展を開催した。

	事業名	実施日	来場者	内容・備考
1	「甲州道中（相模湖・藤野・上野原）のおひな様」展	R 7/2/8(土)～3/9(日)	471人	地元に伝わるおひな様を展示。

3 入館者数一覧

（1）尾崎豊堂記念

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
令和2年度	582	* ₁ 190	3.1
令和3年度	815	* ₂ 255	3.2
令和4年度	1,249	297	4.2
令和5年度	1,384	306	4.5
令和6年度	1,153	* ₃ 301	3.8

*₁ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日（水）～6月5日（金）及び令和3年1月13日（水）～3月21日（日）休館

*₂ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月6日（金）～9月30日（木）休館

*₃ 令和6年台風第10号のため、令和6年8月30日（金）～9月1日（日）まで休館

（2）吉野宿ふじや

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)
令和2年度	562	* ₁ 72	7.8
令和3年度	1,305	* ₂ 98	13.3
令和4年度	1,329	116	11.5
令和5年度	1,343	121	11.1
令和6年度	1,368	* ₃ 118	11.6

*₁ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日（水）～6月5日（金）及び令和3年1月13日（水）～3月26日（金）休館

*₂ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月6日（金）～9月30日（木）休館

*₃ 令和6年台風第10号のため、令和6年8月31日（土）と9月1日（日）は休館

VIII 企画展（特別展示）、プラネタリウム・全天周映画一覧

令和6年度 企画展・プラネタリウム・全天周映画一覧

月	企画展		プラネタリウム		全天周映画	
4	第9回 「わお！な生きものフォトコンテスト作品展」 3.23～5.6	「STOP！クリハラリス～特定外来生物の分布拡大を止めるために～ 3.23～5.6	プラネタリウムで宇宙たんけん！ (春) ～ナゾの宇宙人からのメッセージ～ 3.2～5.26	星空さんぽ ～春～ 3.1～5.31	名探偵コナン 灼熱の銀河鉄道 (同時上映) まくまくんの 星空大冒険 4.2～5.26	
5						タッチ・ザ・スター 4.2～7.19
6	「相模原に生まれた偉人 尾崎行雄(豊堂)新規収蔵資料展」 6.1～6.30					
7			プラネタリウムで宇宙たんけん！ (夏) ～ナゾの宇宙人からのメッセージ～ 6.1～8.31	星空さんぽ ～夏～ 6.1～8.31	名探偵コナン 灼熱の銀河鉄道 (同時上映) ニヤンちゅう！プラネタリウムチュー！ 夏の星座- 6.1～8.31	プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型 (同時上映) ニヤンちゅう！プラネタリウムチュー！ -夏の星座- 7.20～8.31
8	民俗企画展 「上溝番田の神代神楽」 7.13～9.8					
9						
10	学習資料展「相模原70年と学校給食のあゆみ」 9.22～11.10		プラネタリウムで宇宙たんけん！ (秋) ～ナゾの宇宙人からのメッセージ～ 9.1～12.1	星空さんぽ ～秋～ 9.1～12.1	名探偵コナン 灼熱の銀河鉄道 (同時上映) まくまくんの 星空大冒険 9.1～12.1	プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型 (同時上映) まくまくんの 星空大冒険 9.1～12.1
11						
12						
1						
2						
3						
			今夜の星空解説 12.3～3.30		名探偵コナン 灼熱の銀河鉄道 12.3～3.30	プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型 12.3～3.30

※12月3日（火）以降のプラネタリウム・全天周映画はプラネタリウムリニューアル工事のためミニプラネタリウムで投影

IX 企画展（特別展示）ポスター一覧



第9回 わお！な生きもの
フォトコンテスト写真展



「STOP!クリハラリス～
特定外来生物の
分布拡大を止めるために～」



相模原に生まれた偉人
尾崎行雄(鷗堂)
新規収蔵資料展



民俗企画展
「上溝番田の神代神楽」



学習資料展
「相模原70年と
学校給食のあゆみ」

X 博物館略年表

年 月	事 項
昭和 55 年 4 月	「キャンプ淵野辺留保地整備計画」に建設の検討が盛り込まれる
昭和 56 年 4 月	社会教育課に博物館準備係を設置
昭和 56 年 6 月	博物館をつくる懇談会を設置
昭和 56 年 10 月	博物館をつくる懇談会から建設構想策定の提言
昭和 58 年 2 月	(仮称)相模原市立博物館基本構想策定
昭和 58 年 6 月	展示専門委員会の設置
昭和 59 年 3 月	博物館展示基本計画の策定
平成 2 年 11 月	国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められる。(仮称)相模原市立博物館建設基本計画策定
平成 3 年 4 月	博物館建設事務所設置
平成 3 年 5 月	建築設計候補者選考委員会の設置
平成 3 年 7 月	建築設計プロポーザル提案図書提出
平成 3 年 8 月	建築設計者の決定
	博物館をつくる懇談会市長へ意見書を提出し解散
平成 3 年 9 月	建築基本設計着手
平成 4 年 1 月	建設用地の取得
	展示プロポーザル提案図書の提出
平成 4 年 2 月	展示設計・施工候補者選考委員会設置
	展示設計・施工者の決定
平成 4 年 5 月	建設実施設計及び展示実施設計着手
	プラネタリウム等候補機種選考委員会の開催
平成 5 年 6 月	博物館建設工事・展示工事・プラネタリウム等設備工事契約
平成 6 年 8 月	天体観測機器設置工事契約
平成 7 年 3 月	相模原市立博物館条例制定
	登録原簿への登録を受ける(記号番号 神奈川第32号)
平成 7 年 7 月	博物館建設工事竣工
平成 7 年 10 月	展示工事・プラネタリウム等工事・天体観測機器設置工事竣工
平成 7 年 11 月 20 日 開館	
平成 8 年 1 月	天体観測室と観測テラスで「星空観望会」を開始
	5 / 19 入館者数 10 万人を超える
平成 8 年 5 月	入館者 10 万人達成記念式典

令和6年度 相模原市立博物館 年報

平成 8年 10月	平成8年度第41回神奈川建築コンクール最優秀賞受賞
平成 9年 4月	障害者・高齢者・ひとり親家庭等の家族に対するプラネタリウム観覧料等の免除施策開始
平成 9年 4月	隣接地に淵野辺公園第2駐車場(50台収容)が完成し、博物館駐車場と一体的な運用開始
平成 9年 5月	1997年度日本建築学会作品選奨受賞
平成 9年 10月	平成9年度通商産業省選定グッド・デザイン施設受賞
平成 9年 11月	平成9年度第38回建築業協会賞受賞
平成11年 11月	11/21 入館者数50万人を超える
平成12年 5月	公共建築賞優秀賞受賞
平成16年 1月	1/18 入館者数100万人を超える
	入館者100万人達成セレモニー
平成17年 1月	企画展示として「学習資料展」を開始
平成17年 4月	市立博物館シンボルマークを制定
平成17年 10月	開館10周年記念特別展「博物館10年の歩み」を実施
平成17年 11月	相模原市立博物館開館10周年
平成22年 4月	管理係が企画情報班に組織変更。市史編さん班新設(補助執行)
平成22年 7月	小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルを世界初公開
	以後、毎年JAXA連携企画展を開催
平成23年 4月	天文展示室リニューアルオープン
平成23年 5月	博物館周辺の動植物を観察するミニ観察会を開始(現在は「生きものミニサロン」として実施)
平成23年 7月	市内小中学校の教材利用として博物館資料の「貸出しキット」事業の開始
平成23年 8月	8/28 入館者数200万人を超える
	入館者200万人達成セレモニー
平成23年 11月	ボランティアや中高生の部活動の発表の場として「学びの収穫祭」を開始
平成24年 1月	Twitterを開設(@scm_sagapon)
	「相模原市立博物館の職員ブログ」を開設
平成24年 2月	全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の観覧者が5万人を超える

令和6年度 相模原市立博物館 年報

平成25年 4月	研究者らを招き月1回、講演やワークショップを行う「さがみはら宇宙の日」を開始(令和元年度まで)
平成25年 7月	吉野宿ふじやリニューアルオープン 小惑星イトカワの微粒子を世界初公開(光学顕微鏡による直接観覧)
平成25年 8月	市民協働事業で博物館と尾崎豊堂記念館にWi-Fi環境導入(尾崎豊堂記念館のWi-Fiは令和3年3月まで)
平成27年 3月	吉野宿ふじや常設展示リニューアル 津久井郷土資料室を廃止
平成27年 6月	6/20 入館者数250万人を超える
平成27年 11月	相模原市立博物館開館20周年
平成28年 2月	尾崎豊堂記念館常設展示リニューアル
平成28年 4月	プラネタリウムの操作等業務委託をPPP(Public Private Partnership)で選考した業者と契約
平成29年 4月	吉野宿ふじや活性化事業を公募型プロポーザル方式で選考した団体と契約
平成31年 3月	3/19 入館者数300万人を超える 来館者数300万人達成記念事業実施
平成31年 4月	市史編さん班廃止
令和2年 9月	「ネットで楽しむ博物館(YouTube・相模原市立博物館公式チャンネル)」を開設
令和2年 11月	相模原市立博物館開館25周年
	相模原市立博物館開館25周年記念ポストカード作成・販売開始
令和3年 2月	博物館入口に「さがみん×はやツー君デザインマンホール蓋」を設置
3月	小惑星探査機「はやぶさ2」の帰還カプセルを世界初公開
7月	博物館キャラクター「おびのっち」が商標原簿に登録
12月	小惑星探査機「はやぶさ2」の小惑星リュウグウサンプルを公開
令和5年 2月	Instagramを開設(@sagamihara_city_museum)
3月	博物館内全館(一部を除く)にフリーWi-Fiを再整備し、スマートフォン等を活用した多言語対応の展示ガイドを導入

令和6年度 相模原市立博物館 年報

令和 5年10月	市公共施設の子どもの個人利用無料化に伴い、市内在住または在学の小中学生と全ての未就学児のプラネタリウム観覧料を無料化
令和 6年3月	3/23 入館者数350万人を超える
令和 6年12月	プラネタリウムのリニューアル工事が始まる。

付録

○相模原市立博物館条例

平成7年3月23日

条例第13号

改正 平成11年12月22日条例第58号

平成21年12月22日条例第36号

平成24年3月27日条例第21号

令和5年1月23日条例第2号

令和5年3月20日条例第45号

(趣旨)

第1条 この条例は、相模原市立博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館として、相模原市立博物館(以下「博物館」という。)を相模原市中央区高根3丁目1番15号に設置する。

(一部改正〔平成21年条例36号〕)

(観覧料)

第3条 博物館を利用する者(以下「利用者」という。)は、プラネタリウム投影又は全天周映画を観覧しようとするときは、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

2 利用者は、特別な企画の展示が行われている場合において、当該展示に係る資料を観覧しようとするときは、教育委員会がその都度定める観覧料を納付しなければならない。

3 前2項の観覧料は、前納とする。

(観覧料の減免)

第4条 前条第1項及び第2項の規定にかかわらず、教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除することができる。

(観覧料の不還付)

第5条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が、観覧料を納付した者の責め

によらない理由により観覧することができないと認めるときは、この限りでない。

(利用の制限)

第6条 教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、その利用を制限し、又は中止させることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。
- (2) 博物館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。
- (3) 博物館の施設、設備、資料等(以下「施設等」という。)を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障があると認められるとき。

(博物館資料の特別利用)

第7条 学術研究等のため、博物館資料(博物館に保管され、又は展示されている資料をいう。以下同じ。)の撮影、模写、模造その他の特別な利用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(博物館資料の館外貸出し)

第8条 次に掲げるものは、博物館資料の館外貸出し(以下「館外貸出し」という。)を受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法第2条第1項に規定する博物館及び同法第31条第2項に規定する指定施設
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
- (3) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館
- (4) 国立の図書館及び図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館
- (5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が適当と認めるもの

2 館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会の承認を受けなければならない。

(追加〔平成11年条例58号〕、一部改正〔令和5年条例2号〕)

(特別利用等の条件)

第9条 教育委員会は、博物館の管理上及び博物館資料の保全上必要と認める範囲内で、第7条又は前条第2項の承認に条件を付すことができる。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(特別利用等の制限)

令和6年度 相模原市立博物館 年報

第10条 教育委員会は、次に掲げる博物館資料については、第7条又は第8条第2項の承認をしないものとする。

- (1) 保全上支障があると認めるもの
 - (2) 寄託を受けたもので寄託者の承諾を得ていないもの
 - (3) 著作権のあるもので著作権者の承諾を得ていないもの
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が適当でないと認めるもの
- (追加〔平成11年条例58号〕)

(入館の制限等)

第11条 教育委員会は、博物館の管理上適當でないと認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(販売行為等の禁止)

第12条 何人も、博物館において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(損害賠償)

第13条 博物館の施設等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(一部改正〔平成11年条例58号〕)

(博物館協議会の設置)

第14条 博物館法第23条第1項の規定に基づき、博物館に相模原市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(一部改正〔平成11年条例58号・24年21号・令和5年2号〕)

(定数)

第15条 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(委員)

第16条 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育の関係者

(2) 社会教育の関係者

(3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者

(4) 学識経験のある者

(5) 市の住民

2 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 協議会の委員は、再任されることができる。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(会長及び副会長)

第17条 協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(会議)

第18条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(運営等)

第19条 第14条から前条までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(委任)

第20条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(一部改正〔平成11年条例58号・24年21号〕)

附 則

この条例は、公布の日から起算して9月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

令和6年度 相模原市立博物館 年報

(平成7年規則第36号で平成7年11月20日から施行)

附 則(平成11年12月22日条例第58号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成21年12月22日条例第36号抄)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月27日条例第21号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(令和5年1月23日条例第2号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

附 則(令和5年3月20日条例第45号)

この条例は、令和5年10月1日から施行する。

別表(第3条関係)

区分	単位	観覧料	
		大人	小人
プラネタリウム投 影	個人	1回につき	500円 200円
	団体(20人以上)	1人1回につき	400円 160円
全天周映画	個人	1回につき	500円 200円
	団体(20人以上)	1人1回につき	400円 160円

備考

- 1 小人とは、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者をいう。ただし、個人で観覧する15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者であって、市内に居住し、又は市内の学校教育法第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る。)若しくは特別支援学校(小学部及び中学部に限る。)に通学するもの(以下「市内の子ども」という。)を除く。
- 2 市内の子どもが個人で観覧する場合又は学齢に達しない者が観覧する場合の観覧料は、無料とする。

令和6年度 相模原市立博物館 年報

○相模原市立博物館条例施行規則

平成7年9月29日

教委規則第8号

改正 平成9年1月16日教育委員会規則第2号

平成11年3月31日教育委員会規則第10号

平成12年3月31日教育委員会規則第18号

平成14年10月1日教育委員会規則第19号

平成15年3月14日教育委員会規則第2号

平成17年3月31日教育委員会規則第3号

平成17年7月29日教育委員会規則第20号

平成19年3月30日教育委員会規則第29号

平成21年4月1日教育委員会規則第7号

平成24年3月30日教育委員会規則第9号

平成26年9月30日教育委員会規則第20号

平成27年3月30日教育委員会規則第15号

平成28年3月28日教育委員会規則第10号

平成30年9月28日教育委員会規則第12号

令和元年6月28日教育委員会規則第2号

令和2年12月28日教育委員会規則第33号

令和5年3月29日教育委員会規則第6号

令和6年7月31日教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、相模原市立博物館条例(平成7年相模原市条例第13号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 相模原市立博物館(以下「博物館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる日を除く。)

(2) 休日の翌日(休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。)

(3) 前2号の規定にかかわらず、12月28日から翌年の1月3日までの日

- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日
- 2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。

(一部改正〔平成27年教委規則15号〕)

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日等の周知)

第4条 教育委員会は、第2条第1項第4号の規定により休館日を定め、若しくは同条第2項の規定により休館日を開館日とするとき又は前条第2項の規定により開館時間を変更するときは、あらかじめその旨を告示する等市民への周知を図るものとする。

(観覧券の交付)

第5条 教育委員会は、条例第3条第1項の観覧料を納付した者にプラネタリウム投影等観覧券を、同条第2項の観覧料を納付した者に特別展観覧券を交付するものとする。

(一部改正〔令和5年教委規則6号〕)

(観覧料の減免)

第6条 条例第4条の規定による観覧料の減額又は免除は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

(1) 市内の学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る。)及び特別支援学校(高等部を除く。)の児童・生徒(それぞれの引率者を含む。)が、教育課程に基づく教育活動により観覧しようとするとき。 100パーセント

(2) 市内の幼稚園、幼保連携型認定こども園若しくは保育所又はこれらに準ずる施設が行う教育活動等により幼児(その引率者を含む。)が観覧しようとするとき。 50パーセント

(3) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法(昭和22年法律第164号)第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害と判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの介護者が観覧しようとするとき。 100パーセント

(4) 相模原市医療費助成条例施行規則(昭和49年相模原市規則第17号)第11条第1項第2号に規定するひとり親家庭等であることの証明書に記載されている者(これに準ずる市外在住の者を含む。)が観覧しようとするとき。 100パーセント

(5) 65歳以上の者が観覧しようとするとき。 50パーセント

2 前項の規定により観覧料の減額又は免除を受けようとする者は、博物館観覧料減免申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、前項第3号、第4号又は第5号に該当するときは、申請書の提出を省略することができる。

3 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、観覧料を、減額し、又は免除するときは博物館観覧料減免決定通知書により、減額せず、又は免除しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

(一部改正〔平成9年教委規則2号・11年10号・15年2号・17年3号・20号・19年29号・21年7号・24年9号・26年20号・27年15号・28年10号・30年12号・令和2年33号・6年6号〕)

(観覧料の還付手続)

第7条 条例第5条ただし書の規定により観覧料の還付を受けようとする者は、その旨及び観覧することができない理由を記載した書面にプラネタリウム投影等観覧券又は特別展観覧券を添え、教育委員会に提出しなければならない。

(特別利用の手続)

第8条 条例第7条の規定により特別利用の承認を受けようとする者は、博物館資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、その特別利用を、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請した者に通知するものとする。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・19年29号〕)

(館外貸出しの手続)

第9条 条例第8条第2項の規定により館外貸出しの承認を受けようとするものは、博物館資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、その館外貸出しを、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請したものに通知するものとする。

令和6年度 相模原市立博物館 年報

3 館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、当該期間を延長することができる。

4 教育委員会は、必要があるときは、館外貸出しの期間中であっても、当該博物館資料の返還を求めることができる。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・26年20号〕)

(博物館資料の複写)

第10条 博物館を利用する者(以下「利用者」という。)は、別に定めるところにより、博物館資料の複写をすることができる。ただし、技術上複写をすることが困難なものその他教育委員会が適当でないと認める博物館資料については、この限りでない。

(一部改正〔平成12年教委規則18号〕)

(販売行為等の許可手続)

第11条 条例第12条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとするものは、相模原市立博物館販売行為等許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その販売行為等を、許可するときは相模原市立博物館販売行為等許可通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(追加〔令和5年教委規則6号〕)

(遵守事項)

第12条 利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 許可なく動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)又は危険若しくは不潔な物品を持ち込まないこと。

(2) 博物館資料(第9条第2項の承認を受けたものを除く。)又は博物館の器具等を博物館外に持ち出さないこと。

(3) 指定された場所以外の場所で飲食しないこと。

(4) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(5) 博物館の職員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・14年19号・令和元年2号・5年6号〕)

(損傷等の届出)

第13条 博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失させた者は、直ちにその旨を文書

令和6年度 相模原市立博物館 年報

により教育委員会に届け出なければならない。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・令和5年6号〕)

(協議会の庶務)

第14条 相模原市立博物館協議会(以下「協議会」という。)の庶務は、博物館で処理する。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・24年9号・令和5年6号〕)

(協議会会長への委任)

第15条 前条に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・24年9号・令和5年6号〕)

(様式)

第16条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

(追加〔平成19年教委規則29号〕、一部改正〔平成24年教委規則9号・26年20号・令和5年6号〕)

(委任)

第17条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・19年29号・24年9号・27年15号・令和5年6号〕)

附 則

この規則は、平成7年11月20日から施行する。

附 則(平成9年1月16日教委規則第2号)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月31日教委規則第10号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成12年3月31日教委規則第18号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年10月1日教委規則第19号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成15年3月14日教委規則第2号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年3月31日教委規則第3号)

令和6年度 相模原市立博物館 年報

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成17年7月29日教委規則第20号)

この規則は、平成18年4月1日から施行し、同日以後に行う観覧料の減免について適用する。

附 則(平成19年3月30日教委規則第29号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成21年4月1日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成24年3月30日教委規則第9号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年9月30日教委規則第20号)

この規則は、平成26年10月1日から施行する。

附 則(平成27年3月30日教委規則第15号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月28日教委規則第10号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成30年9月28日教委規則第12号)

この規則は、平成30年10月1日から施行する。

附 則(令和元年6月28日教委規則第2号)

この規則は、令和元年7月1日から施行する。

附 則(令和2年12月28日教委規則第33号)

この規則は、令和3年1月1日から施行する。

附 則(令和5年3月29日教委規則第6号)

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則(令和6年7月31日教委規則第6号)

この規則は、令和6年8月1日から施行する。

令和6年度 相模原市立博物館 年報

○相模原市立尾崎^{がく}豎堂記念館条例

平成17年12月21日

条例第165号

改正 平成21年12月22日条例第36号

(趣旨)

第1条 この条例は、相模原市立尾崎^{がく}豎堂記念館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 豊^{がく}豎堂尾崎行雄の生誕地の屋敷跡を保存し、ゆかりの文献、遺品その他の資料を展示するとともに、青少年の勉学の場とし、その健全な育成に寄与するため、相模原市立尾崎^{がく}豎堂記念館(以下「記念館」という。)を相模原市緑区又野691番地に設置する。

(一部改正〔平成21年条例36号〕)

(利用の承認)

第3条 記念館を利用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。承認された事項の変更をしようとするときも、同様とする。

2 教育委員会は、記念館の管理上必要と認める範囲内で、前項の承認に条件を付することができる。

(利用の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、前条第1項の利用の承認をしないものとする。

(1) 記念館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。

(2) 記念館の施設、器具等(以下「施設等」という。)を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか、記念館の管理上支障があると認められるとき。

(利用承認の取消し等)

第5条 教育委員会は、第3条の規定による利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)が、次の各号のいずれかに該当する場合は、利用の承認を取り消し、又は利用を制限し、若しくは中止させることができる。この場合において、教育委員会はこれらの処分によって生じた損害の責めを負わない。

(1) 利用者が第3条第2項の規定による利用の承認の条件に違反したとき。

- (2) 利用の申請に虚偽又は不正があったとき。
- (3) 前条各号のいずれかに該当するに至ったとき。
- (4) 災害その他やむを得ない理由により教育委員会が必要と認めたとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、利用者(利用目的に応じて入館した者を含む。)が、この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。

(権利譲渡等の禁止)

第6条 利用者は、利用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別な設備等の承認)

第7条 利用者は、特別な設備を施し、又は特別な器具等を使用するときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。

(入館の制限等)

第8条 教育委員会は、記念館の管理上適当でないと認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

(販売行為等の禁止)

第9条 何人も、記念館の敷地内において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、あらかじめ教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(原状回復の義務)

第10条 利用者は、記念館の利用を終了したとき、又は第5条の規定により利用の承認を取り消され、利用の制限を受け、若しくは利用を中止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

2 利用者が前項の義務を履行しないときは、教育委員会がこれを執行し、これに要した費用を利用者から徴収する。

(損害賠償)

第11条 記念館の施設等及び展示品等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(委任)

第12条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

令和6年度 相模原市立博物館 年報

(施行期日)

1 この条例は、平成18年3月20日から施行する。

(津久井町の編入に伴う経過措置)

2 この条例の施行の日前に旧津久井町立尾崎畠記念館の設置及び管理に関する条例(昭和55年津久井町条例第18号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成21年12月22日条例第36号抄)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

令和6年度 相模原市立博物館 年報

○相模原市立尾崎畠堂記念館条例施行規則

平成18年2月24日

教育委員会規則第10号

改正 平成27年1月13日教育委員会規則第1号

令和2年3月31日教育委員会規則第19号

(趣旨)

第1条 この規則は、相模原市立尾崎畠堂記念館条例(平成17年相模原市条例第165号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 相模原市立尾崎畠堂記念館(以下「記念館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる日を除く。)

(2) 休日の翌日(休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。)

(3) 前2号の規定にかかわらず、12月28日から翌年の1月3日までの日

(4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。

3 教育委員会は、第1項第4号の規定により休館日を定め、又は前項の規定により休館日を開館日とするときは、あらかじめその旨を告示等により市民に周知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(利用できる時間及び受付時間)

第3条 記念館を利用できる時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

2 記念館の利用に係る申請の受付時間は、開館日の午前9時から午後4時30分までとする。

(利用承認申請手続)

第4条 条例第3条第1項の規定により承認を受けようとする者(承認された事項を変更しようとする者を除く。以下「利用申請者」という。)は、相模原市立尾崎畠堂記念館利用承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、資料室の観覧の申請にあっては、口頭で行うものとする。

2 前項の申請書は、利用しようとする日の2日前までに提出しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

令和6年度 相模原市立博物館 年報

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(利用の承認等)

第5条 教育委員会は、前条第1項の規定による申請書の提出があった場合において、その利用を、承認するときは相模原市立尾崎豊堂記念館利用承認通知書(以下「利用承認通知書」という。)により、承認しないときはその旨を利用申請者に通知するものとする。ただし、前条第1項ただし書の規定により口頭でなされた申請に対する承認又は承認しない旨の通知は、口頭で行うものとする。

2 前項本文の規定による利用の承認は、申請の順序に従って行い、申請が同時の場合は、協議又は抽選によりこれを決定するものとする。ただし、公用又は公共のため、教育委員会が特に必要と認めた場合は、この限りでない。

3 利用承認通知書により利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)は、利用の際、利用承認通知書を係員に提示し、指示を受けなければならない。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(利用の取消し及び承認事項変更の手続)

第6条 利用者は、記念館の利用の取消し又は承認された事項の変更をしようとするときは、相模原市立尾崎豊堂記念館利用承認取消(変更)申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、利用の取消し又は承認事項の変更を、承認するときは相模原市立尾崎豊堂記念館利用承認取消(変更)決定通知書により、承認しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(特別な設備等の承認手続)

第7条 条例第7条の規定により特別な設備等の承認を受けようとする者は、相模原市立尾崎豊堂記念館特別設備等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その特別な設備等を、承認するときは相模原市立尾崎豊堂記念館特別設備等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(販売行為等の許可手続)

第8条 条例第9条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとする者は、相模原市立尾崎豊堂記念館販売行為等許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その販売行為等を、許可

するときは相模原市立尾崎豊堂記念館販売行為等許可通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(遵守事項)

第9条 利用者(利用目的に応じて入館した者を含む。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 承認された以外の施設、器具等を利用しないこと。
- (2) 許可なく建物等に張り紙をし、又はくぎ類を打ち込まないこと。
- (3) 許可なく火気を使用しないこと。
- (4) 許可なく記念館の器具等を所定の保管場所以外へ移動させないこと。
- (5) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)を持ち込まないこと。
- (6) 許可なく所定の場所以外の場所で飲食しないこと。
- (7) 噫煙をしないこと。
- (8) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (9) その他係員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(職務上の立入り)

第10条 教育委員会は、記念館の管理上必要と認めたときは、係員を利用の承認をしている施設に立ち入らせることができる。この場合において、利用者は、当該係員の立入りを拒むことはできない。

(損傷等の届出)

第11条 記念館の施設、器具等を損傷し、又は滅失した者は、直ちにその旨を文書により教育委員会に届け出なければならない。

(利用後の点検)

第12条 利用者は、記念館の利用を終了したときは、直ちに係員にその旨を告げ、点検を受けなければならない。

(様式)

第13条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

令和6年度 相模原市立博物館 年報

(追加〔平成27年教委規則1号〕)

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、記念館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

附 則

1 この規則は、平成18年3月20日から施行する。

2 この規則の施行の際現に旧津久井町立尾崎豊堂記念館の設置及び管理に関する条例施行規則(昭和55年津久井町教育委員会規則第3号)の規定により定められた様式の用紙が残存するときは、当該用紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附 則(平成27年1月13日教委規則第1号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(令和2年3月31日教委規則第19号)

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

令和6年度 相模原市立博物館 年報

○相模原市吉野宿ふじや管理規程

平成28年4月1日

教育委員会告示第12号

改正 平成29年4月1日教育委員会告示第5号

令和2年3月31日教育委員会告示第14号

(趣旨)

第1条 この告示は、相模原市緑区吉野214番地に所在する吉野宿ふじやの適正な保存及び活用を図るため、その管理について必要な事項を定めるものとする。

(観覧日)

第2条 吉野宿ふじやの観覧ができる日(以下「観覧日」という。)は、日曜日、土曜日及び国民の祝日にに関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日とする。ただし、次に掲げる日を除く。

(1) 12月28日から翌年の1月3日までの日

(2) 前号に掲げる日のほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、観覧ができない日を観覧日とすることができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(団体利用の特例)

第3条 前条に規定する観覧日のほか、10人以上の団体から観覧の申込みがあった場合で教育委員会が認めたときは、観覧ができない日であっても観覧させることができる。

(追加〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧ができる時間)

第4条 吉野宿ふじやの観覧ができる時間は、午前10時から午後4時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧ができない日等の周知)

第5条 教育委員会は、第2条第1項第2号の規定により観覧ができない日を定め、若しくは同条第2項の規定により観覧ができない日を観覧日とするとき又は前条ただし書の規定により観覧ができる時間を変更するときは、あらかじめその旨を市民に周知するものとする。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

令和6年度 相模原市立博物館 年報

(観覧に係る料金)

第6条 吉野宿ふじやの観覧に係る料金は、無料とする。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧の制限)

第7条 教育委員会は、吉野宿ふじやの管理上適当でないと認められる者があるときは、その観覧を制限することができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(遵守事項)

第8条 吉野宿ふじやを観覧する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 施設、資料等を損傷し、又は汚損しないこと。
- (2) 許可なく火気を使用しないこと。
- (3) 許可なく飲食しないこと。
- (4) 喫煙をしないこと。
- (5) 許可なく物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしないこと。
- (6) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)を持ち込まないこと。
- (7) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (8) その他係員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成29年教委告示5号・令和2年14号〕)

(委任)

第9条 この告示に定めるもののほか、吉野宿ふじやの管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

附 則

この告示は、公表の日から施行する。

附 則(平成29年4月1日教委告示第5号)

この告示は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(令和2年3月31日教委告示第14号)

この告示は、令和2年4月1日から施行する。

発行日 令和7年4月1日
相模原市立博物館
住 所 〒252-0221 相模原市中央区高根3-1-15
T E L 042-750-8030
F A X 042-750-8061
E-mail hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp
U R L <https://sagamiharacitymuseum.jp/>